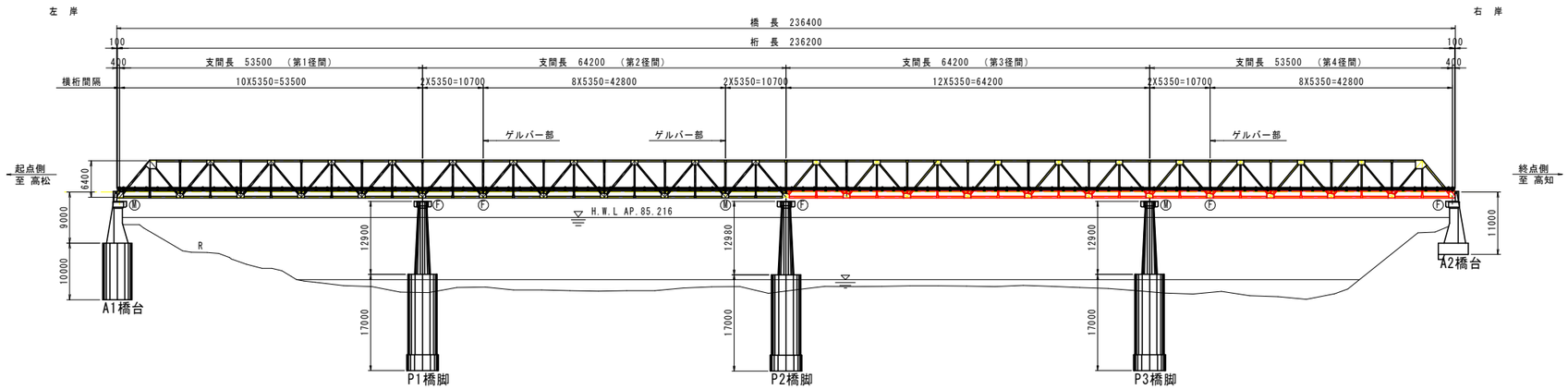
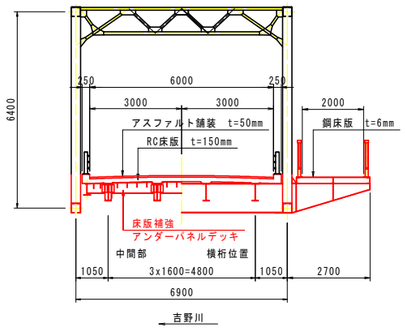
橋梁一般図

橋梁修繕工事
鋼部材補修工 N=26箇所
ひび割れ補修工 L=3.3m
断面修復工 V=0.314m3

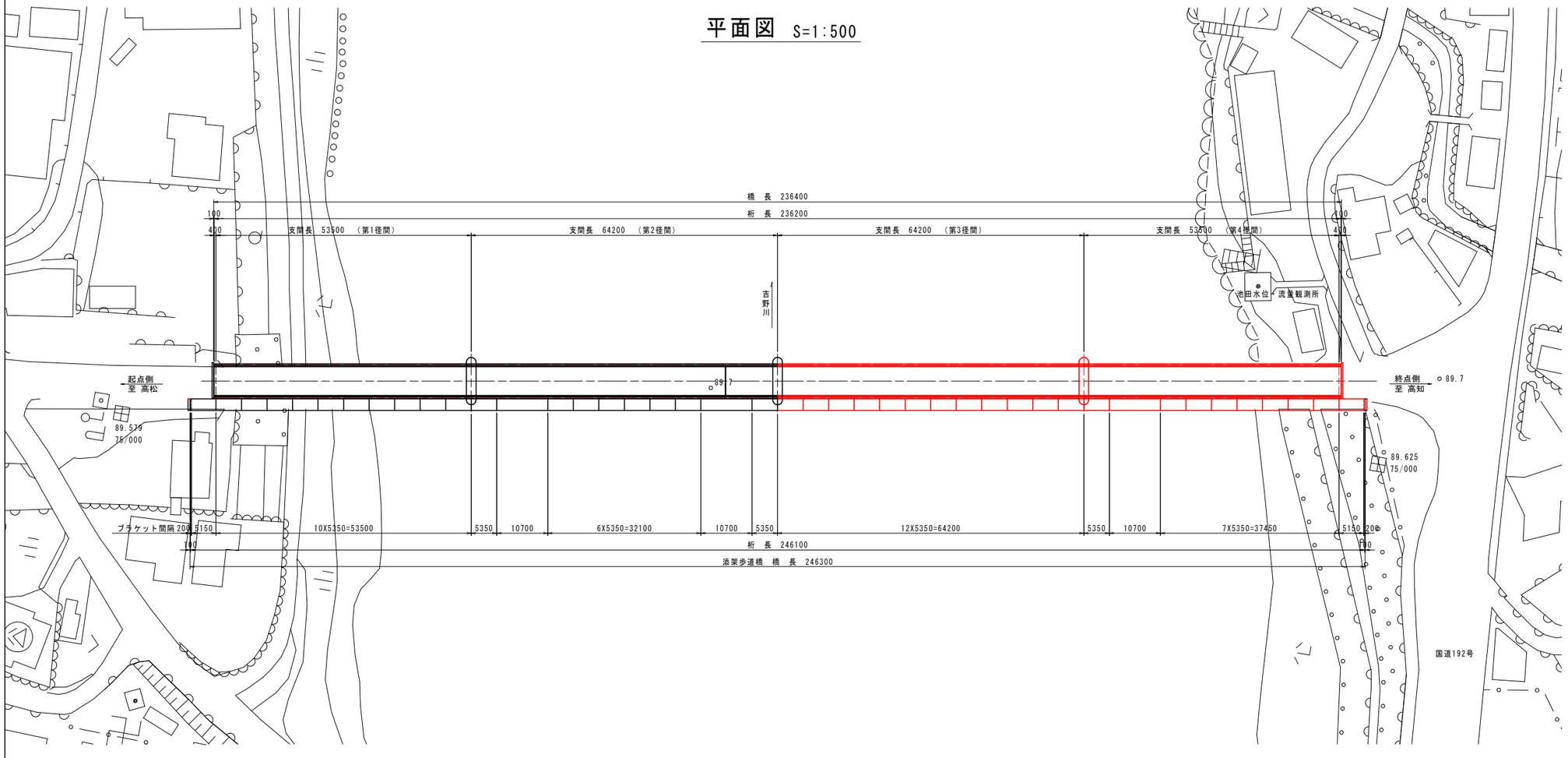
側面図 S=1:500



断面図 S=1:100



平面図 S=1:500



※当図面の平面地形は国土交通省所有の吉野川上流平面図を使用しており、実測地形ではない。
河川横断は吉野川75/000の横断図を基に作成したものであり、実測地形ではない。

設 計 条 件

路線名			（主）観音寺池田線
本橋	橋の等級		一等橋
	橋 長		236.400m
	幅 員		有効幅員6.0m、全幅員6.5m
	橋 種		道路橋
	橋梁形式	上部構造	ゲルバー桁トラス橋
		下部構造	橋台 半重力式橋台 橋脚 壁式橋脚
		基礎構造	A1橋台 ケーソン基礎 A2橋台 直接基礎 橋脚 ケーソン基礎
	竣工年月		1958年12月(橋歴板)
	適用基準		建示(1955)
添架歩道橋	橋 長		246.300m
	幅 員		有効幅員2.0m、全幅員2.4m
	橋 種		歩道橋
	橋梁形式	上部構造	鋼床版形式(主桁 形鋼)
		下部構造	橋台 重力式橋台 橋脚 ブラケット形式
	竣工年月		1972年8月(橋歴板)
	適用基準		歩道橋指針(1965)

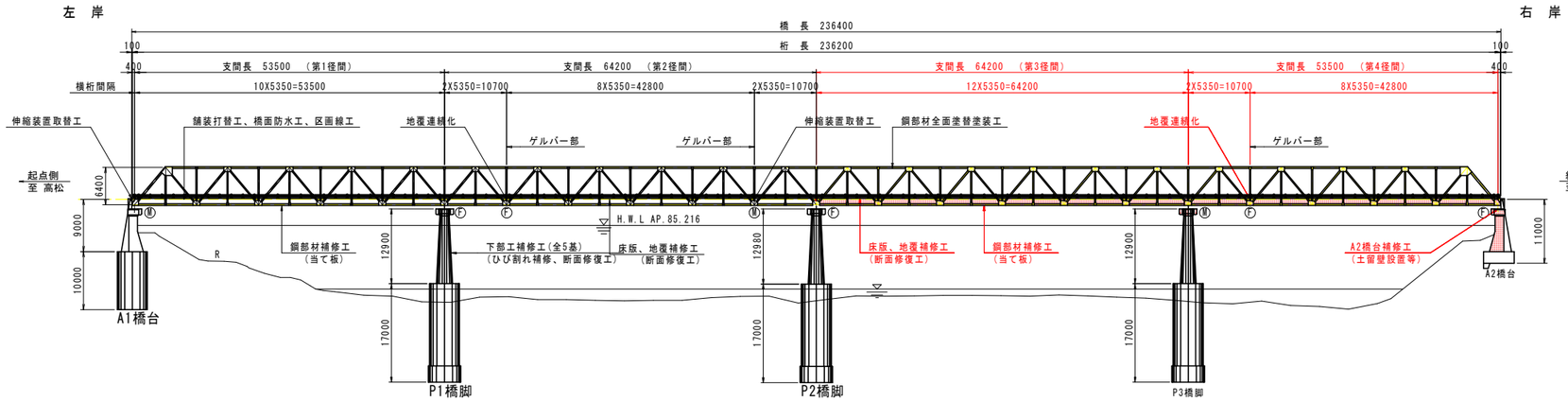
実施設計図面

工事名	R1三土 観音寺池田線（三好大橋） 三・井川西井川 橋梁修繕工事		
路線名等	（主）観音寺池田線		
工事箇所	三好市井川町西井川（三好大橋）		
図面名	橋梁一般図		
縮尺	図 示	図面番号	1 / 20
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部 三好庁舎		

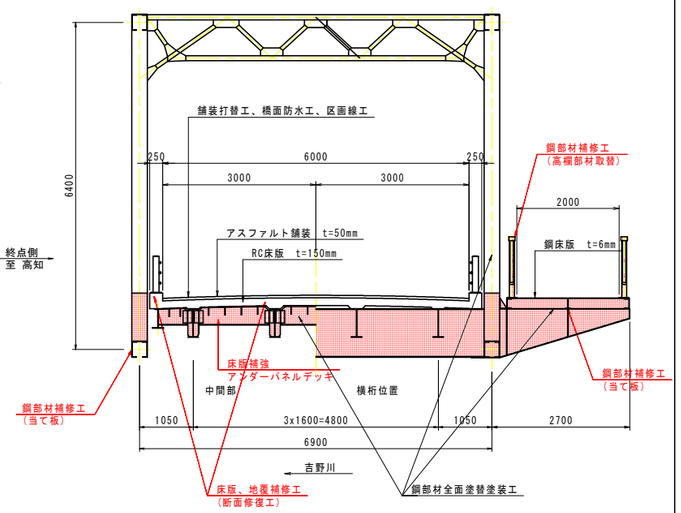
対策工一般図

橋梁修繕工事
鋼部材補修工 N=26箇所
ひび割れ補修工 L=3.3m
断面修復工 V=0.314m3

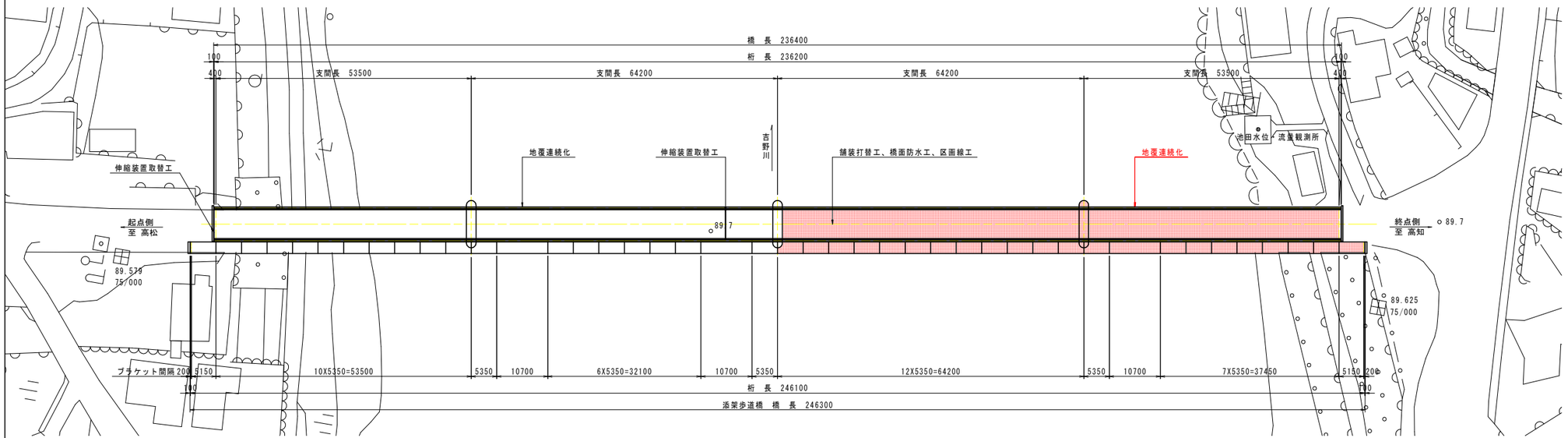
側面図 S=1:500



断面図 S=1:60



平面図 S=1:500



対策工一覧表

対象箇所、部位 等	損傷・変状種別	対策工法 等
本橋、側道橋 鋼部材	塗装劣化、腐食	全面塗替塗装工(Rc-III塗装系) 床版補強部材含む
本橋、側道橋 鋼部材	腐食(欠損、孔食等)	当て板、高欄部材取替 等
本橋 床版、地覆	うき、剥離、鉄筋露出	断面修復工(左官工法、ポリマーセメントモルタル)
本橋 地覆	切り欠きからの漏水	地覆の連続化(鋼部材の環境改善)
本橋 橋面舗装	劣化	アスファルト舗装打ち替え工、橋面防水工、区画線工
本橋 伸縮装置(A1、P2付近)	劣化、腐食、漏水	伸縮装置取替工
本橋 下部工(全5基 内2基)	ひび割れ、遊離石灰	ひび割れ注入工、ひび割れ充填工
	うき、剥離、鉄筋露出	断面修復工(左官工法、ポリマーセメントモルタル)
本橋 A2橋台	補修モルタルの割れ	沓座モルタル補修工
	土砂堆積	土留め壁設置工(支承部の環境改善)

塗替塗装仕様

塗装系は「鋼道路橋防食便覧 平成26年 3月／公益社団法人 日本道路協会」に示される「Rc-III塗装系（はけ，ローラー）」とする。

塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m2)
素地調整	3 種	
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 (鋼材露出部のみ)	(200)
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120

※当図面の平面地形は国土交通省所有の吉野川上流平面図を使用しており、実測地形ではない。
河川横断は吉野川75/000の横断図を基に作成したものであり、実測地形ではない。

実施設計図面

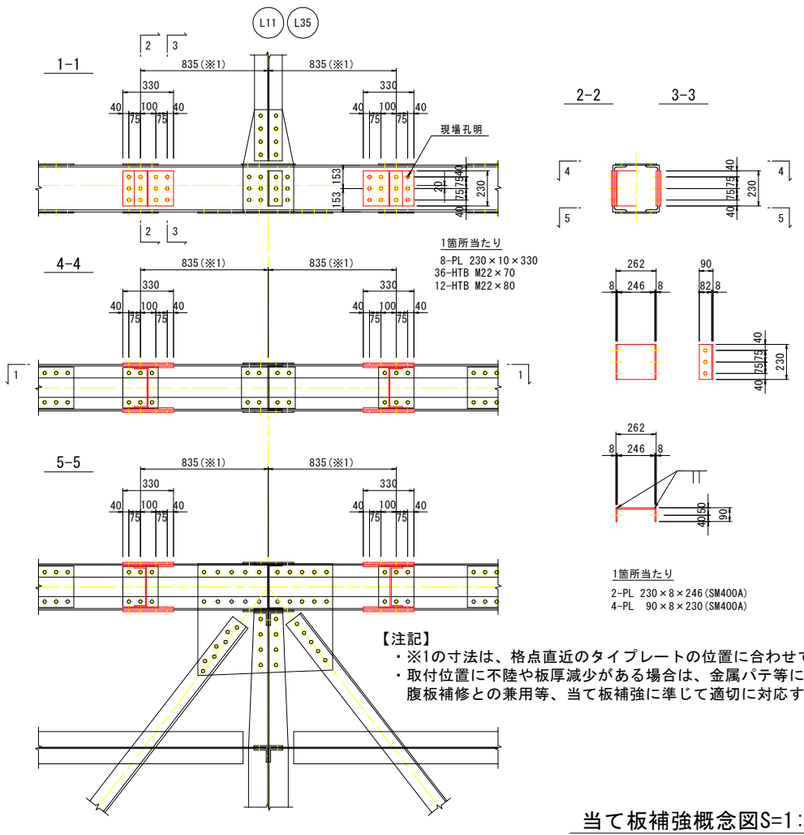
工事名	R２三土 観音寺池田線（三好大橋） 三・井川西井川 橋梁修繕工事		
路線名等	（主）観音寺池田線		
工事箇所	三好市井川町西井川（三好大橋）		
図面名	対策工一般図		
縮尺	図 示	図面番号	2 / 20
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部 三好庁舎		

本橋上部構造補修詳細図(1/3)

（調査延長 L=70m当り）

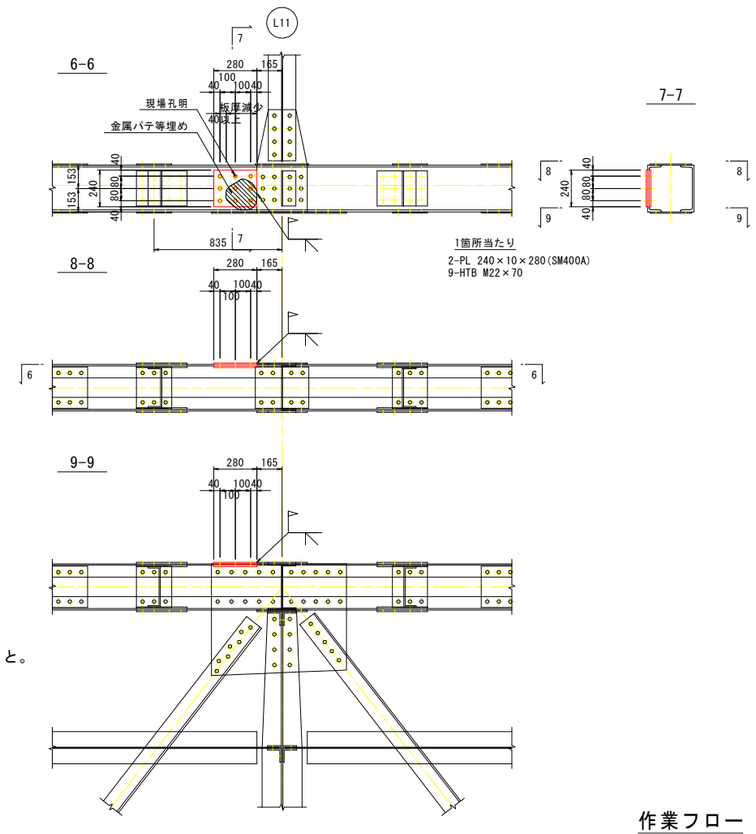
下弦材ダイヤフラム補修図 S=1:20

（下流側 L11,L35）



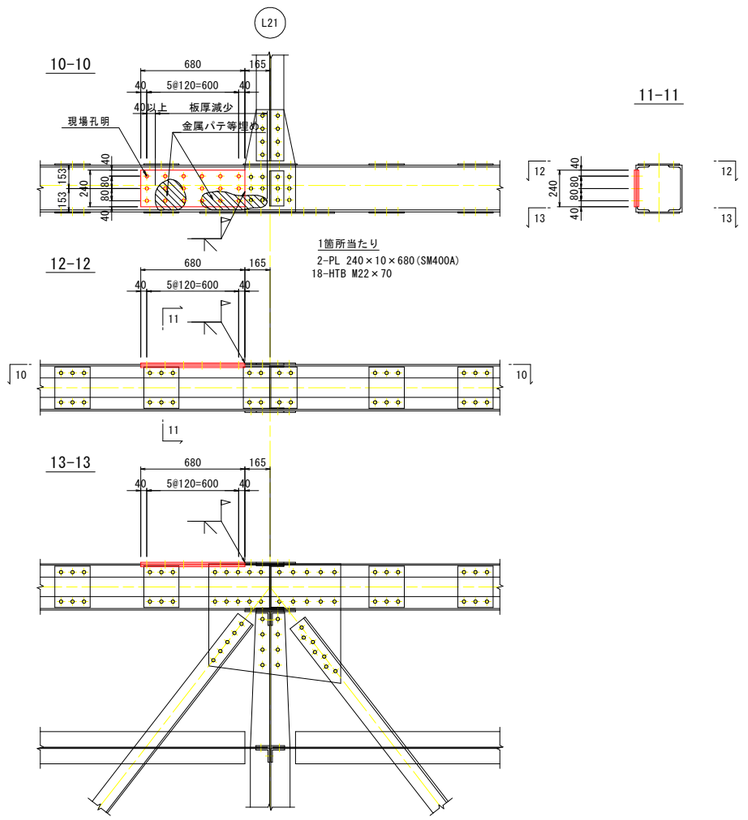
下弦材腹板補修図 S=1:20

（下流側 L11付近）



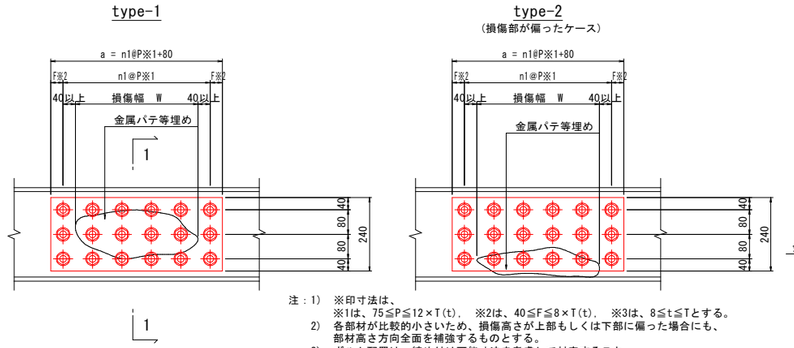
下弦材腹板補修図 S=1:20

（下流側 L21）



【注記】
- ※1の寸法は、格点直近のタイプレートの位置に合わせて調整すること。
- 取付位置に不陸や板厚減少がある場合は、金属パテ等による成型や腹板補修との兼用等、当て板補強に準じて適切に対応すること。

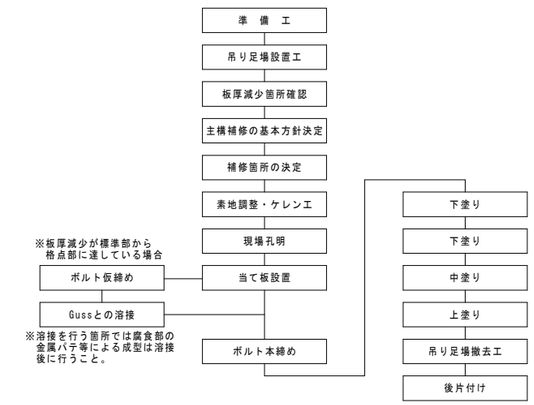
当て板補強概念図S=1:10



注：1) ※印寸法は、
※1は、75≦P≦12×T(t)、 ※2は、40≦F≦8×T(t)、 ※3は、8≦t≦Tとする。
2) 各部材が比較的小さいため、損傷高さが上部もしくは下部に偏った場合にも、部材高さ方向全面を補強するものとする。
3) ボルト配置は、締め付け可能寸法を考慮して対応すること。
4) 腐食部の成型には金属パテ等を使用する。金属パテ等は所定のスベリ係数を確保できる材料を使用すること。(例：レジンパッチ等)
5) 当て板は1枚ものを基本とするが、内側の当て板が長尺となり部材取り付け(挿入)が困難な場合は、分割すること。
なお、外側の当て板については分割しないこと。

作業フロー

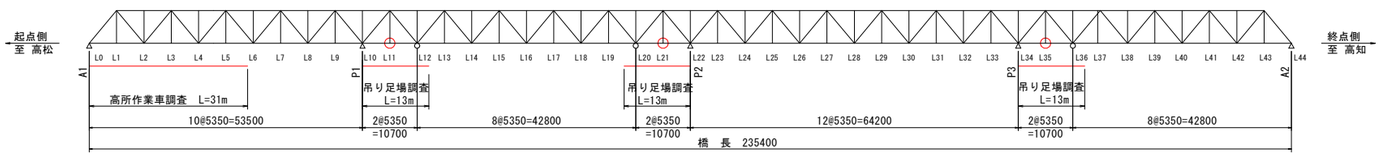
（当て板補修工）



【当て板の取り付けについて】
- 当て板は1枚ものを基本とするが、内側の当て板が長尺となり部材取り付け(挿入)が困難な場合は、分割すること。
- なお、外側の当て板については分割しないこと。

【注記】
- 特記無き材質は、全てSS400とする。
- 特記無き高力ボルトの規格はF10Tとする。

マーク図 S=1:600



【注記】
- 本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
- 補修の実施は腐食状況を確認のうえ、主構補強の基本方針を参照に決定すること。
- 当図面は、部分吊り足場及び高所作業車にて調査した結果を基に補修パターンを計画したものであるため、工事着手時の調査結果からパターン外の損傷には、適切に対応すること。
- 施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

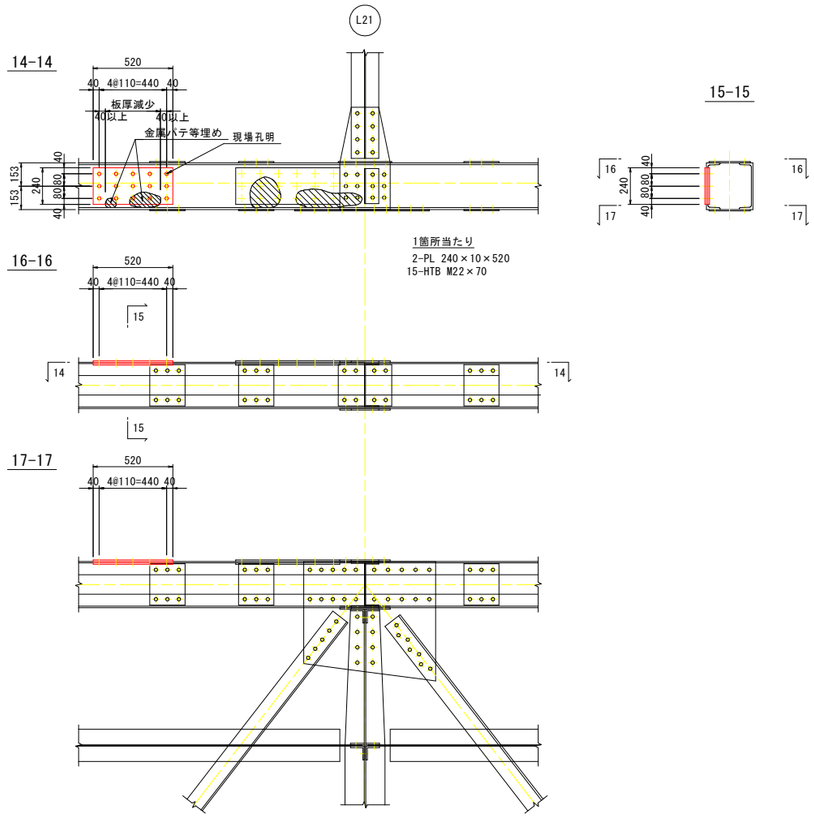
実施設計図面

工事名	R２三土 観音寺池田線（三好大橋） 三・井川西井川 橋梁修繕工事		
路線名等	（主）観音寺池田線		
工事箇所	三好市井川町西井川（三好大橋）		
図面名	本橋上部構造補修詳細図(1/3)		
縮尺	図示	図面番号	3 / 20
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部 三好庁舎		

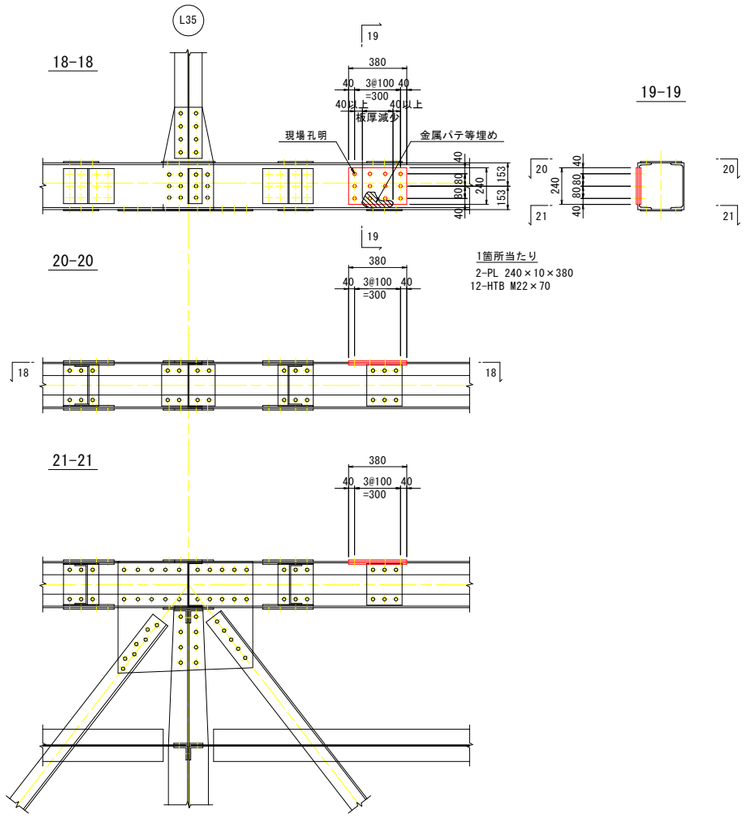
本橋上部構造補修詳細図(2/3)

（調査延長 L=70m当り）

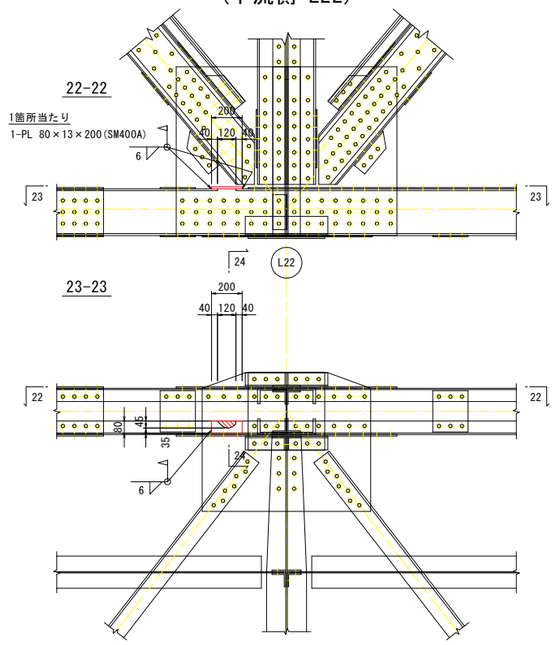
下弦材腹板補修図 S=1:20
（下流側 L21付近）



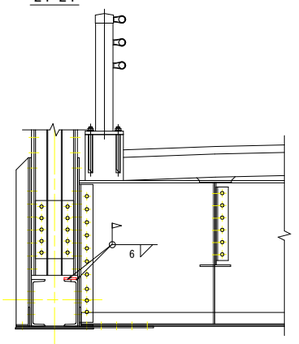
下弦材腹板補修図 S=1:20
（下流側 L35付近）



下弦材上フランジ補修図 S=1:20
（下流側 L22）



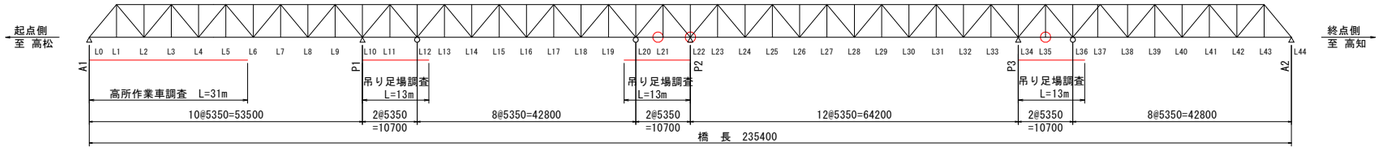
24-24



【当て板の取り付けについて】
- 当て板は1枚ものを基本とするが、内側の当て板が長尺となり部材取り付け(挿入)が困難な場合は、分割すること。
- なお、外側の当て板については分割しないこと。

【注記】
- 特記無き材質は、全てSS400とする。
- 特記無き高力ボルトの規格はF10Tとする。

マーク図 S=1:600



【注記】
- 本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
- 補修の実施は腐食状況を確認のうえ、主構補強の基本方針を参照に決定すること。
- 当図面は、部分吊り足場及び高所作業車にて調査した結果を基に補修パターンを計画したものであるため、工事着手時の調査結果からパターン外の損傷には、適切に対応すること。
- 施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

実施設計図面

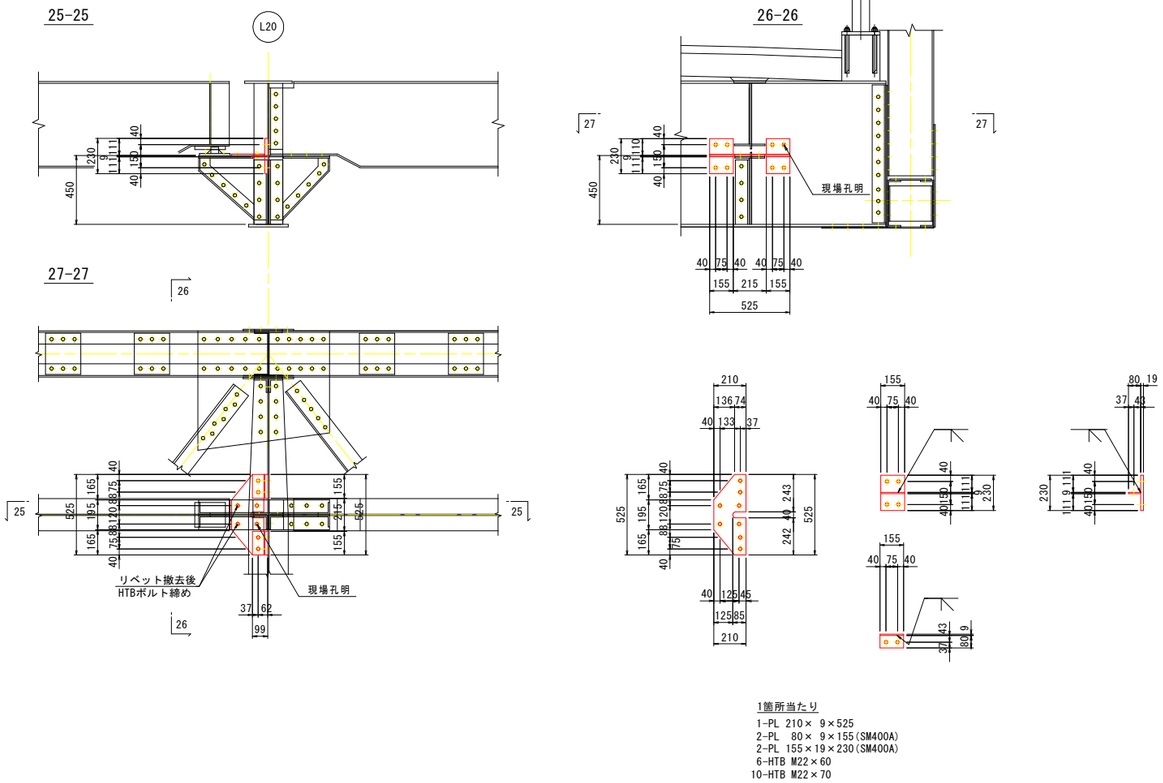
工事名	R２三土　観音寺池田線（三好大橋） 三・井川西井川　橋梁修繕工事		
路線名等	（主）観音寺池田線		
工事箇所	三好市井川町西井川（三好大橋）		
図面名	本橋上部構造補修詳細図(2/3)		
縮尺	図示	図面番号	4 / 20
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局　県土整備部　三好庁舎		

本橋上部構造補修詳細図(3/3)

（調査延長 L=70m当り）

縦桁ブラケット補修図 S=1:20

（L20　全縦桁N=4箇所）



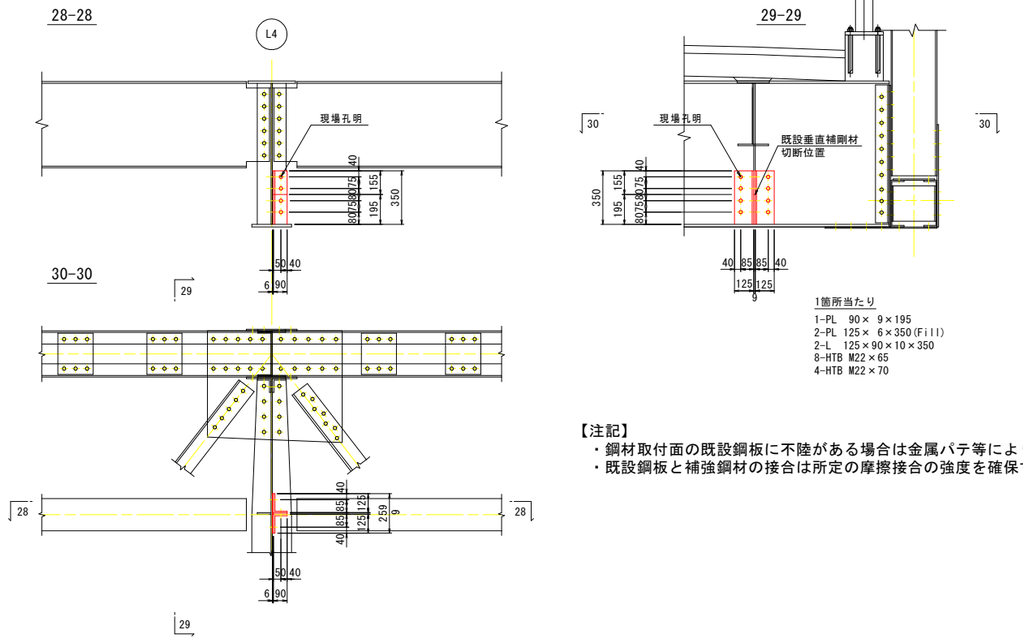
1箇所当たり
1-PL 210× 9×525
2-PL 80× 9×155(SM400A)
2-PL 155×19×230(SM400A)
6-HTB M22×60
10-HTB M22×70

【注記】
・鋼板取付面の既設鋼板に不陸がある場合は金属パテ等により平滑にすること。
・既設鋼板と補強鋼材の接合は所定の摩擦接合の強度を確保すること。

※縦桁ブラケットはゲルバー部のみに設置されている。
　ゲルバー部は全箇所調査を実施しているため、当補修については
　全橋でL20のN=4箇所のみである。

横桁垂直補剛材補修図 S=1:20

（L4：ST1　N=1箇所）



1箇所当たり
1-PL 90× 9×195
2-PL 125× 6×350(Fill)
2-L 125×90×10×350
8-HTB M22×65
4-HTB M22×70

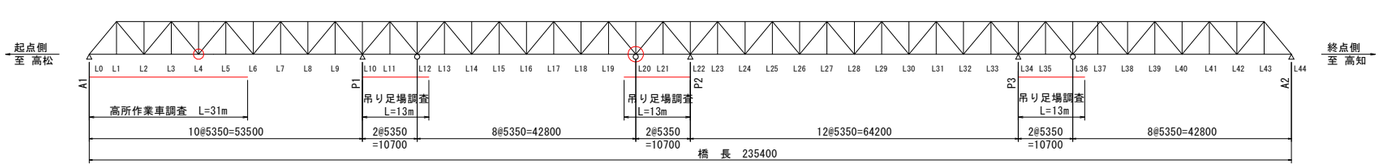
【注記】
・鋼材取付面の既設鋼板に不陸がある場合は金属パテ等により平滑にすること。
・既設鋼板と補強鋼材の接合は所定の摩擦接合の強度を確保すること。

主構上部のその他補修について

・垂直材に添架している照明灯の電線管に腐食が生じている。
　足場設置時に確認のうえ、状況に応じて取り替えること。
・A1橋台側橋門構に添架している標識取り付け金具に変形、ボルトのゆるみが生じている。
　足場設置時に状況を確認し、落下等が発生しないよう適切に処理すること。

【注記】
・特記無き材質は、全てSS400とする。
・特記無き高力ボルトの規格はF10Tとする。

マーク図 S=1:600



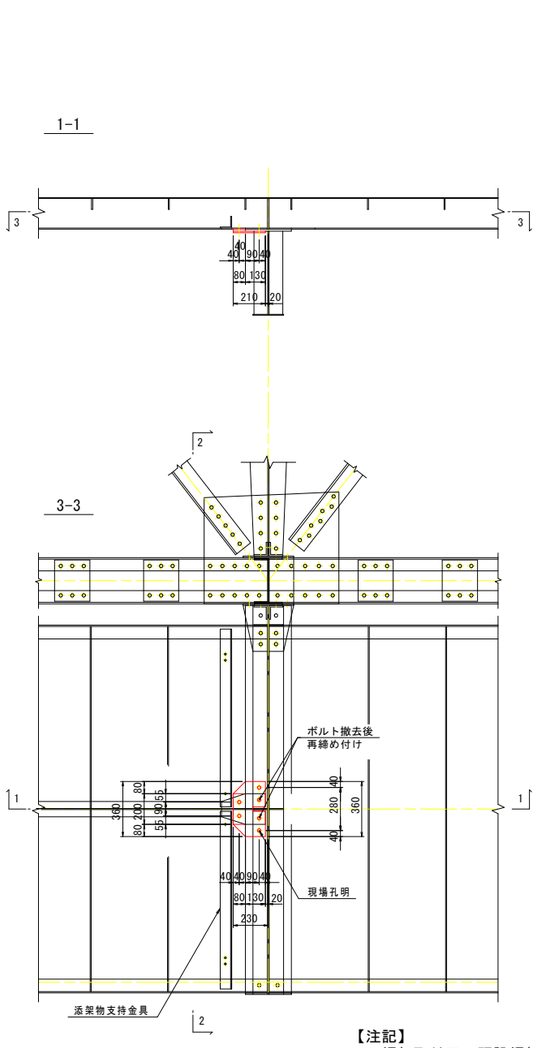
【注記】
・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
・補修の実施は腐食状況を確認のうえ、主構補強の基本方針を参照に決定すること。
・当図面は、部分吊り足場及び高所作業車にて調査した結果を基に補修パターンを計画したものであるため、工事着手時の調査結果からパターン外の損傷には、適切に対応すること。
・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

実施設計図面

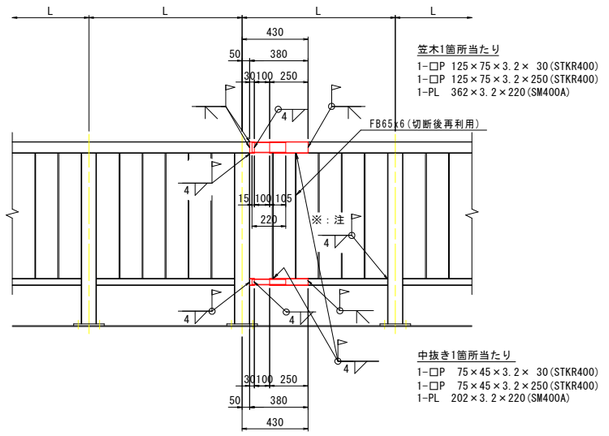
工事名	R２三土　観音寺池田線（三好大橋） 三・井川西井川　橋梁修繕工事		
路線名等	（主）観音寺池田線		
工事箇所	三好市井川町西井川（三好大橋）		
図面名	本橋上部構造補修詳細図(3/3)		
縮尺	図示	図面番号	5 / 20
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局　県土整備部　三好庁舎		

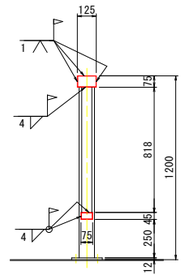
側道橋上部構造補修詳細図

縦リブ補修図 S=1:20
(L35)



高欄補修図 S=1:20
(L11,L21,L35　N=6箇所)

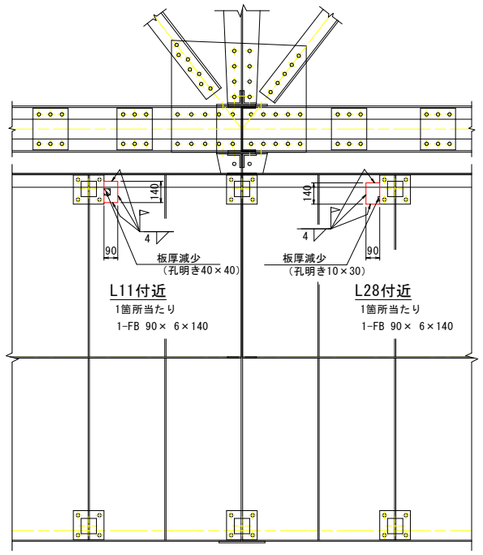




高欄補修箇所一覧表

格　点	位　置	笠　木	中抜き	※注 破断部溶接
L11	上流側	補修必要	補修必要	-
	下流側	補修必要	補修必要	-
L21	上流側	補修必要	補修必要	-
	下流側	補修必要	補修必要	-
L35	上流側	補修必要	-	補修必要
	下流側	補修必要	-	補修必要

鋼床版補修図 S=1:20
(L11,L28付近　N=2箇所)



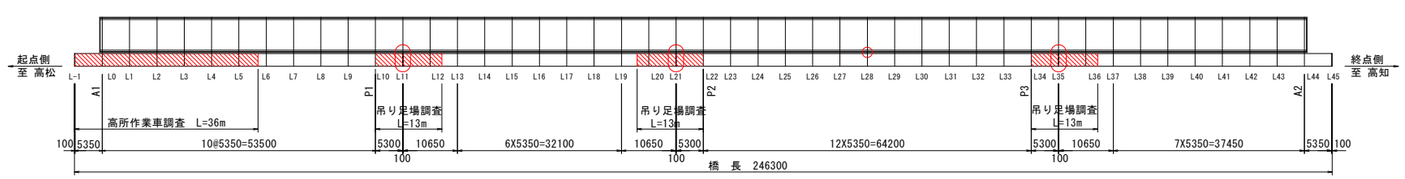
作業フロー

【注記】
・鋼板取付面の既設鋼板に不陸がある場合は金属パテ等により平滑にすること。
・既設鋼板と補強鋼板の接合は所定の摩擦接合の強度を確保すること。

※L35はゲルバー部の腐食環境が悪い箇所であり、他の同条件箇所も
調査を実施しているため、設計上は当箇所のみ数量を計上する。
施工時に同様の損傷が確認された場合は、本図に準じて対応すること。

【注記】
・特記無き材質は、全てSS400とする。
・特記無き高力ボルトの規格はF10Tとする。

マーク図 S=1:600



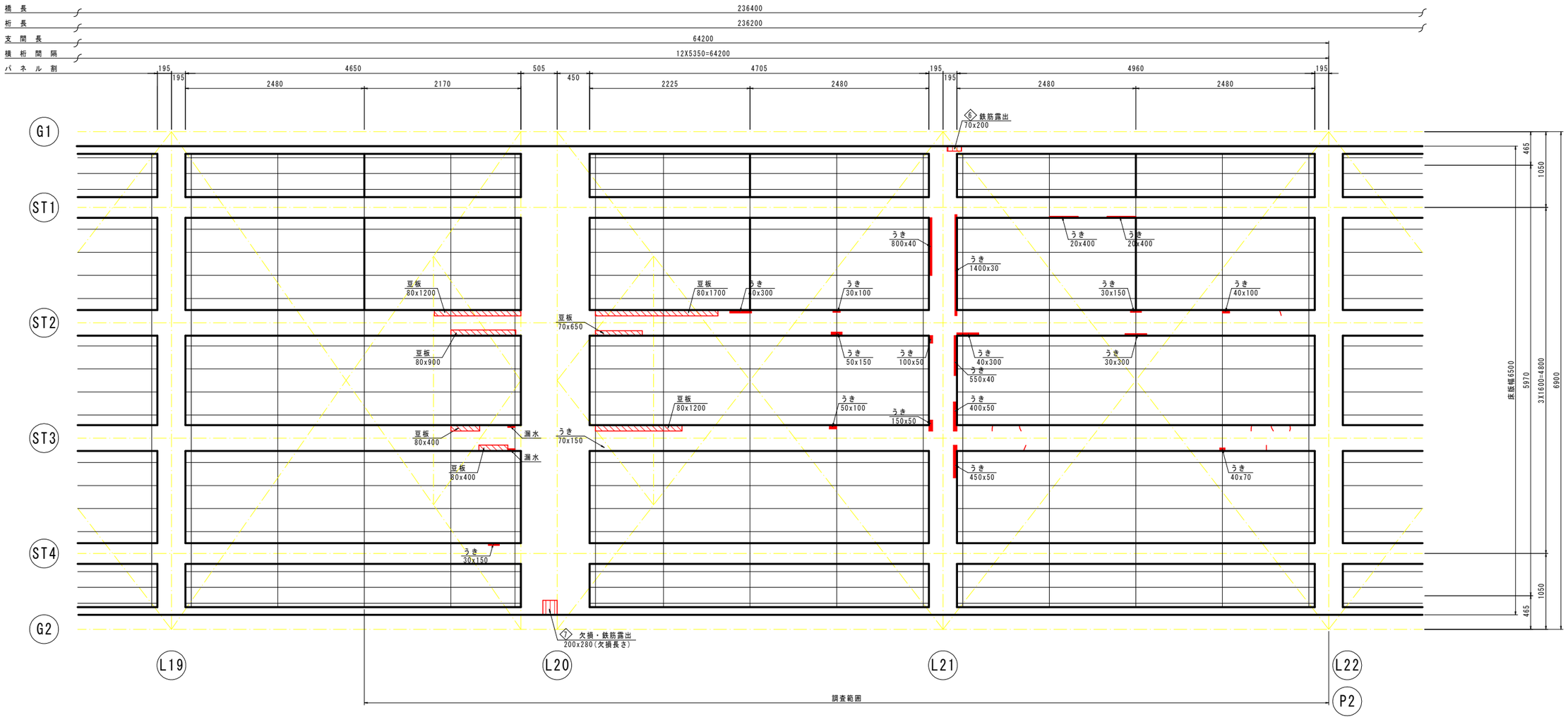
【注記】
・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
・補修工法は、主構補修の基本方針を参照とすること。
・当図面は、部分吊り足場及び高所作業車にて調査した結果を基に補修パターンを計画したものであるため、工事着手時の調査結果からパターン外の損傷には、適切に対応すること。
・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

実施設計図面

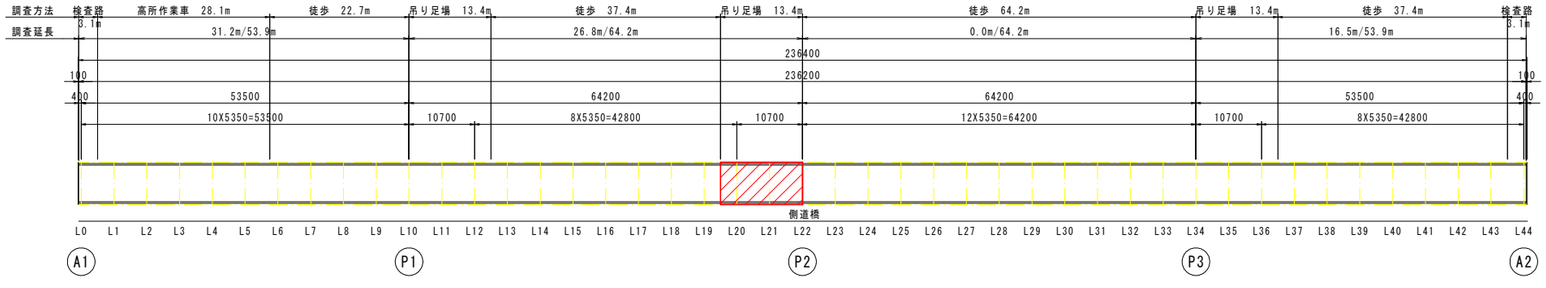
工事名	R２三土　観音寺池田線（三好大橋） 三・井川西井川　橋梁修繕工事		
路線名等	（主）観音寺池田線		
工事箇所	三好市井川町西井川（三好大橋）		
図面名	側道橋上部構造補修詳細図		
縮尺	図示	図面番号	6 / 20
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局　県土整備部　三好庁舎		

床版補修図(4/7) S=1:30

平面図
(L19-L22)



位置図 S=1:500



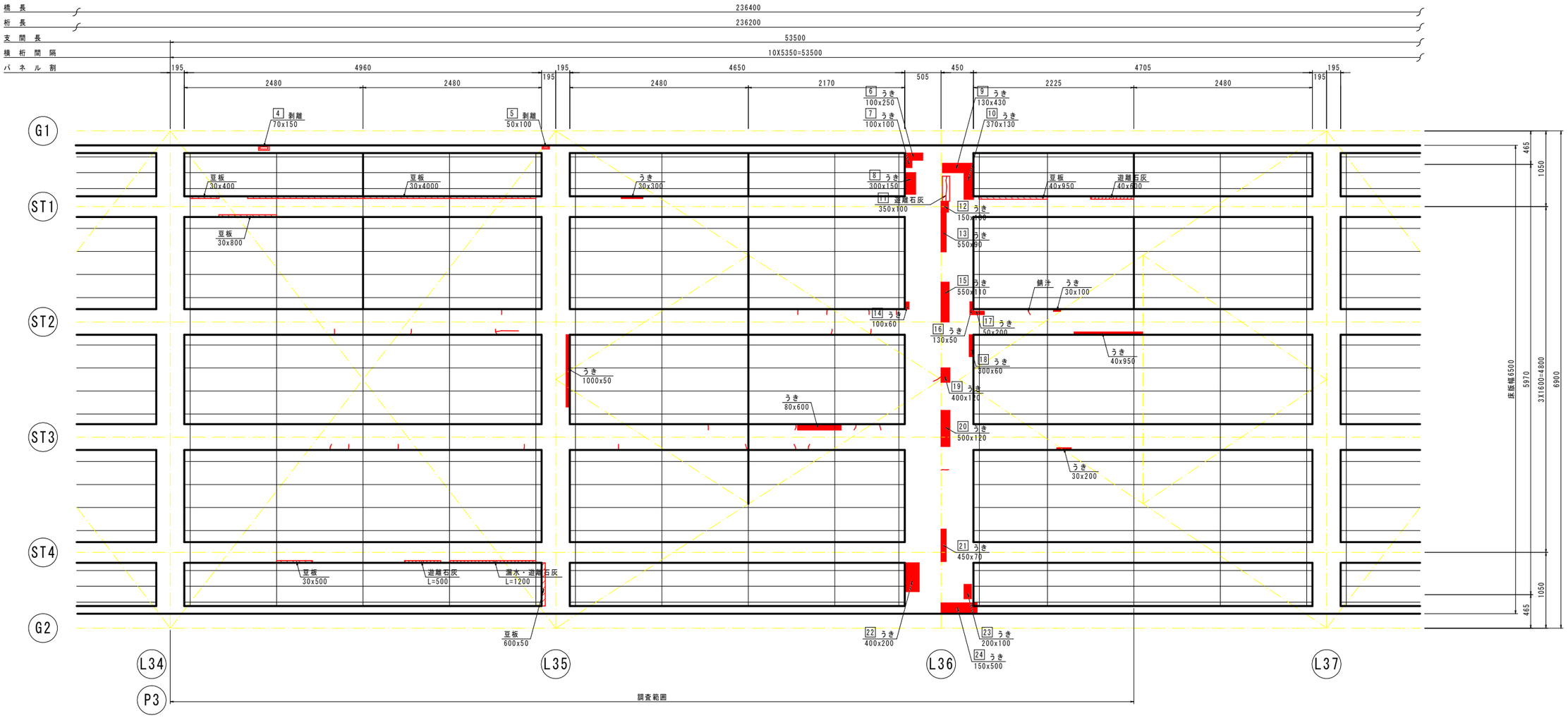
【注記】
- 補修対象は番号を附した損傷である。縦桁ハンチ部の剥離等については、角落ちしやすい箇所であり、構造的にも重要でないため補修対象外とした。
- 鉄筋露出については、純かぶり5mm以上を確保できる箇所は断面修復工による補修を行う。施工実施前にかぶりを確認し、補修箇所を決定すること。なお、純かぶり5mmを確保できない箇所には防錆材を塗布すること。
- 徒歩調査区間は、床版の調査を実施していない。足場設置後調査を行い、上記と同様の方針で補修すること。
- 調査区間には生じていない損傷が発見された場合は、監督員と協議の上、適切に処理すること。
- 本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
- 施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

実施設計図面

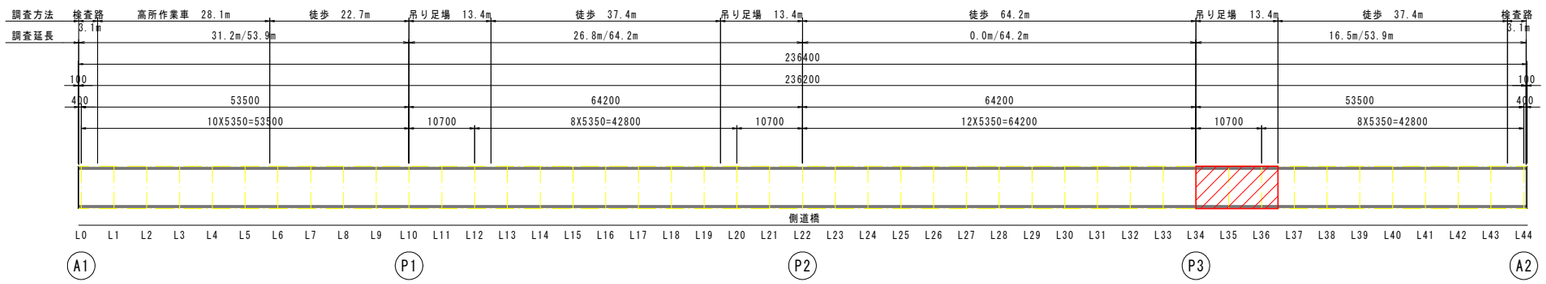
工事名	R2三土 観音寺池田線(三好大橋) 三・井川西井川 橋梁修繕工事		
路線名等	(主)観音寺池田線		
工事箇所	三好市井川町西井川(三好大橋)		
図面名	床版補修図(4/7)		
縮尺	図 示	図面番号	7/ 20
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部 三好庁舎		

床版補修図(5/7) S=1:30

平面図
(L34-L37)



位置図 S=1:500



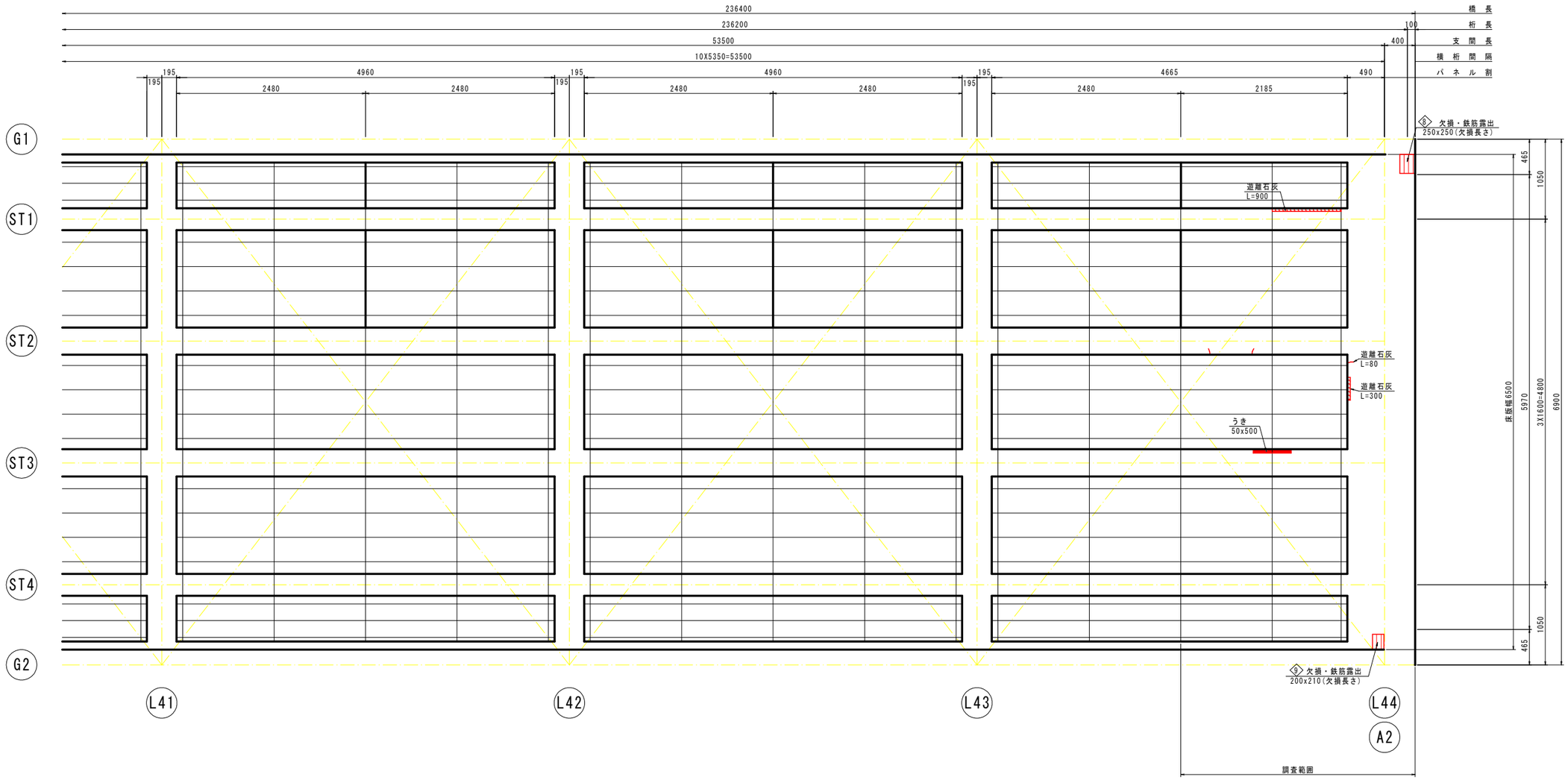
【注記】
- 補修対象は番号を附した損傷である。縦桁ハンチ部の剥離等については、角落ちしやすい箇所であり、構造的にも重要でないため補修対象外とした。
- 鉄筋露出については、純かぶり5mm以上を確保できる箇所は断面修復工による補修を行う。施工実施前にかぶりを確認し、補修箇所を決定すること。なお、純かぶり5mmを確保できない箇所には防錆材を塗布すること。
- 徒歩調査区間は、床版の調査を実施していない。足場設置後調査を行い、上記と同様の方針で補修すること。
- 調査区間には生じていない損傷が発見された場合は、監督員と協議の上、適切に処理すること。
- 本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
- 施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

実施設計図面

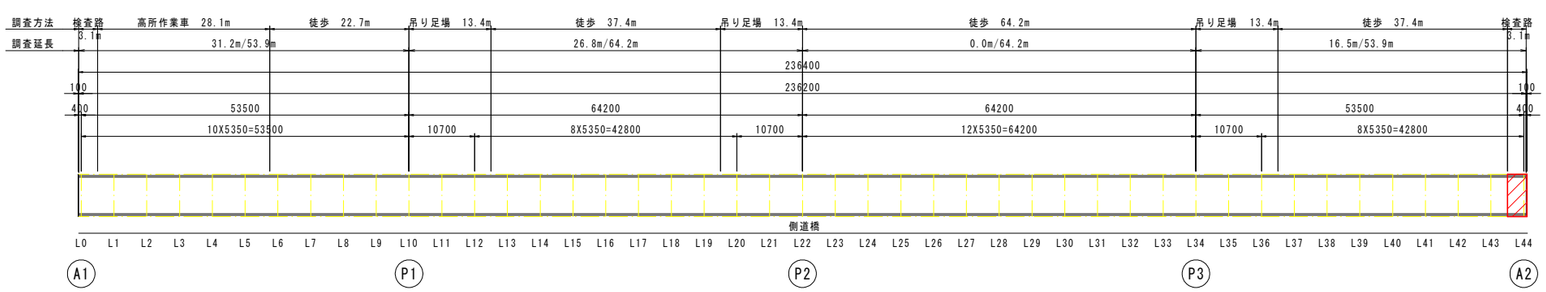
工事名	R２三土　観音寺池田線（三好大橋） 三・井川西井川　橋梁修繕工事		
路線名等	（主）観音寺池田線		
工事箇所	三好市井川町西井川（三好大橋）		
図面名	床版補修図(5/7)		
縮尺	図　示	図面番号	8/ 20
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局　県土整備部　三好庁舎		

床版補修図(6/7) S=1:30

平面図
(L43-L44)



位置図 S=1:500



【注記】
- 補修対象は番号を附した損傷である。縦桁ハンチ部の剥離等については、角落ちしやすい箇所であり、構造的にも重要でないため補修対象外とした。
- 鉄筋露出については、純かぶり5mm以上を確保できる箇所は断面修復工による補修を行う。施工実施前にかぶりを確認し、補修箇所を決定すること。なお、純かぶり5mmを確保できない箇所には防錆材を塗布すること。
- 徒歩調査区間は、床版の調査を実施していない。足場設置後調査を行い、上記と同様の方針で補修すること。
- 調査区間には生じていない損傷が発見された場合は、監督員と協議の上、適切に処理すること。
- 本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
- 施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

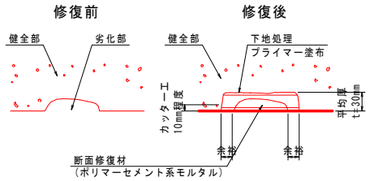
実施設計図面

工事名	R2三土 観音寺池田線(三好大橋) 三・井川西井川 橋梁修繕工事		
路線名等	(主)観音寺池田線		
工事箇所	三好市井川町西井川(三好大橋)		
図面名	床版補修図(6/7)		
縮尺	図 示	図面番号	9/ 20
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部 三好庁舎		

床版補修図(7/7)

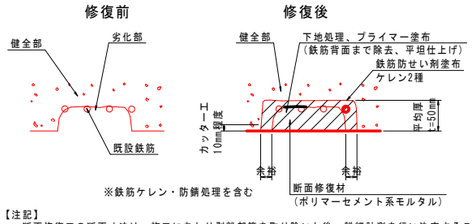
断面修復工詳細図

鉄筋非露出部



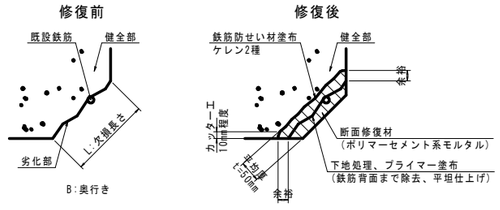
※鉄筋ケレン・防錆処理を含まない

鉄筋露出部



※鉄筋ケレン・防錆処理を含む

角部の欠損・鉄筋露出部



※鉄筋ケレン・防錆処理を含む

【注記】
・断面修復工の断面寸法は、施工にあたり剥離部等を取り除いた後、詳細計測を行い決定すること。
・はつり範囲に鉄筋を確認した場合は鉄筋を露出させて鉄筋露出部の施工方法にて補修すること。
・鉄筋露出については、純かぶり5mm以上を確保できる箇所は断面修復工による補修を行う。
施工実施前にかぶりを確認し、補修箇所を決定すること。
なお、純かぶり5mmを確保できない箇所には防錆材を塗布すること。
・鉄筋非露出部は、断面修復時の平均厚を30mmとする。

断面修復工数量表

※下表は床版下面の調査を実施した区間の数量表である。
全体数量の仮定値は数量計算書にて径間長と調査延長の比を乗じて算出する。
調査を実施していない第3径間は、径間長が等しい第2径間の数量と等しいものと仮定する。

第1径間　調査延長31.2mあたり(全延長53.9m)

断面修復工数量表　※鉄筋ケレン・防錆処理を含まない

番号	B x L x N	単位	鉄筋非露出部 数量	備考
床版				
1	50 × 150 × 1	m2	0.008	うき
2	70 × 200 × 1	m2	0.014	うき
合計（面積）		m2	0.022	
合計（体積）		m3	0.001	(t=30mm)

断面修復工数量表　※鉄筋ケレン・防錆処理を含む

番号	B x L x N	単位	鉄筋露出部 数量	備考
床版				
◇1	100 × 100 × 1	m2	0.010	鉄筋露出
◇2	100 × 250 × 1	m2	0.025	鉄筋露出
◇3	100 × 150 × 1	m2	0.015	鉄筋露出
◇4	150 × 100 × 1	m2	0.015	鉄筋露出
合計（面積）		m2	0.065	
合計（体積）		m3	0.003	(t=50mm)

第2径間　調査延長26.8mあたり(全延長64.2m)

断面修復工数量表　※鉄筋ケレン・防錆処理を含まない

番号	B x L x N	単位	鉄筋非露出部 数量	備考
床版				
3	50 × 300 × 1	m2	0.015	うき
合計（面積）		m2	0.015	
合計（体積）		m3	0.0005	(t=30mm)

断面修復工数量表　※鉄筋ケレン・防錆処理を含む

番号	B x L x N	単位	鉄筋露出部 数量	備考
床版				
◇5	80 × 250 × 1	m2	0.020	鉄筋露出
◇6	70 × 200 × 1	m2	0.014	鉄筋露出
合計（面積）		m2	0.034	
合計（体積）		m3	0.002	(t=50mm)

断面修復工数量表　※角部の欠損・鉄筋露出部 ※鉄筋ケレン・防錆処理を含む

番号	B x L x N	単位	鉄筋露出部 数量	備考
床版				
◇7	200 × 280 × 1	m2	0.056	欠損・鉄筋露出
合計（面積）		m2	0.056	
合計（体積）		m3	0.003	(t=50mm)

第4径間　調査延長16.5mあたり(全延長53.9m)

断面修復工数量表　※鉄筋ケレン・防錆処理を含まない

番号	B x L x N	単位	鉄筋非露出部 数量	備考
床版				
4	70 × 150 × 1	m2	0.011	剥離
5	50 × 100 × 1	m2	0.005	剥離
6	100 × 250 × 1	m2	0.025	うき
7	100 × 100 × 1	m2	0.010	うき
8	300 × 150 × 1	m2	0.045	うき
9	130 × 430 × 1	m2	0.056	うき
10	370 × 130 × 1	m2	0.048	うき
11	350 × 100 × 1	m2	0.035	遊離石灰
12	150 × 100 × 1	m2	0.015	うき
13	550 × 90 × 1	m2	0.050	うき
14	100 × 60 × 1	m2	0.006	うき
15	550 × 110 × 1	m2	0.061	うき
16	130 × 50 × 1	m2	0.007	うき
17	50 × 200 × 1	m2	0.010	うき
18	300 × 60 × 1	m2	0.018	うき
19	400 × 120 × 1	m2	0.048	うき
20	500 × 120 × 1	m2	0.060	うき
21	450 × 70 × 1	m2	0.032	うき
22	400 × 200 × 1	m2	0.080	うき
23	200 × 100 × 1	m2	0.020	うき
24	150 × 500 × 1	m2	0.075	うき
合計（面積）		m2	0.717	
合計（体積）		m3	0.022	(t=30mm)

断面修復工数量表　※角部の欠損・鉄筋露出部 ※鉄筋ケレン・防錆処理を含む

番号	B x L x N	単位	鉄筋露出部 数量	備考
床版				
◇8	250 × 250 × 1	m2	0.063	欠損・鉄筋露出
◇9	200 × 210 × 1	m2	0.042	欠損・鉄筋露出
合計（面積）		m2	0.105	
合計（体積）		m3	0.005	(t=50mm)

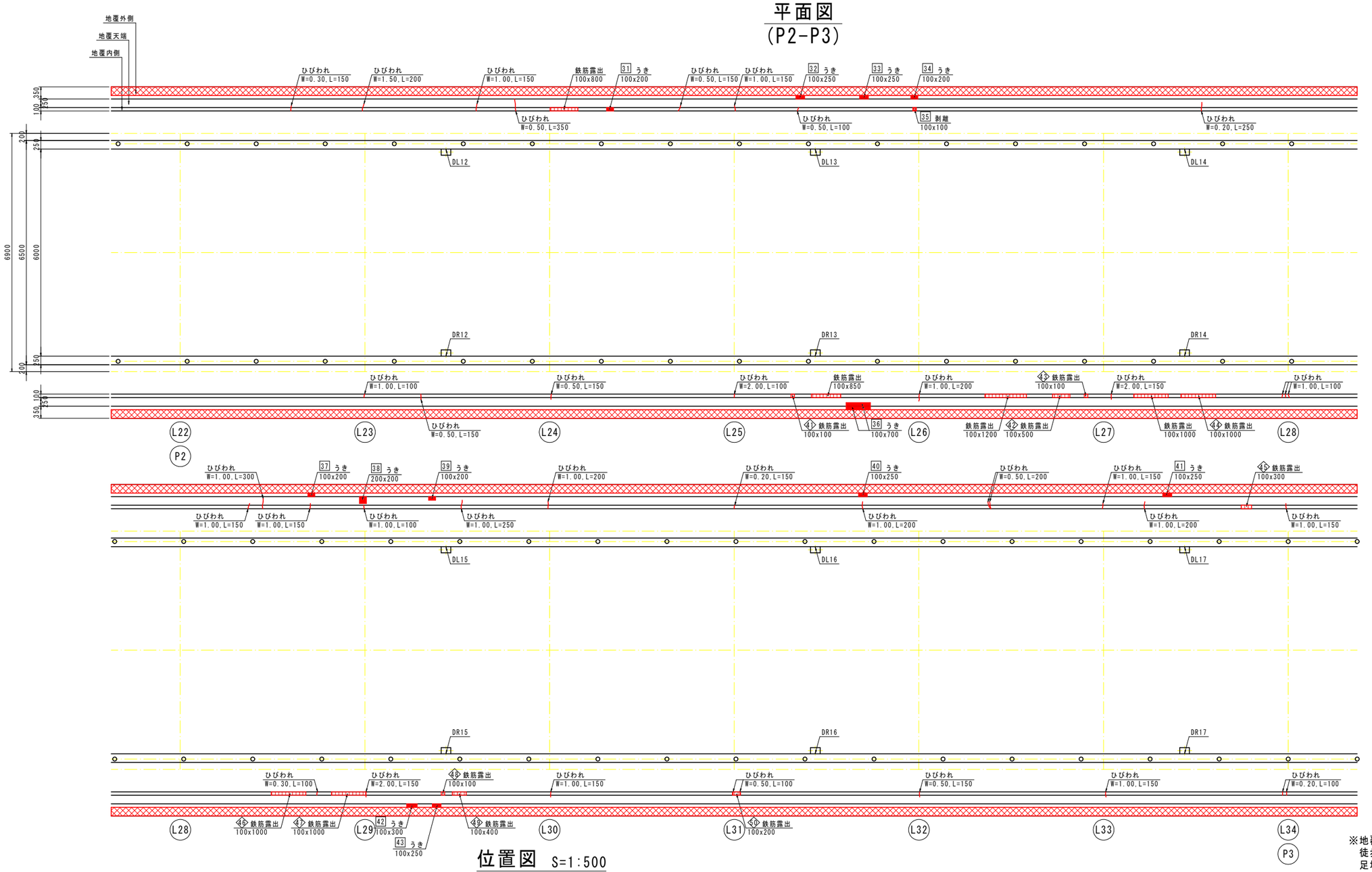
【注記】
・補修対象は番号を附した損傷である。縦桁ハンチ部の剥離等については、角落ちしやすい箇所であり、構造的にも重要でないため補修対象外とした。
・鉄筋露出については、純かぶり5mm以上を確保できる箇所は断面修復工による補修を行う。施工実施前にかぶりを確認し、補修箇所を決定すること。なお、純かぶり5mmを確保できない箇所には防錆材を塗布すること。
・徒歩調査区間は、床版の調査を実施していない。足場設置後調査を行い、上記と同様の方針で補修すること。
・調査区間には生じていない損傷が発見された場合は、監督員と協議の上、適切に処理すること。
・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

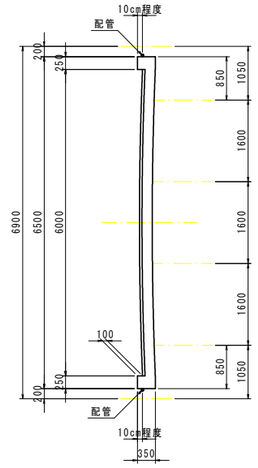
実施設計図面

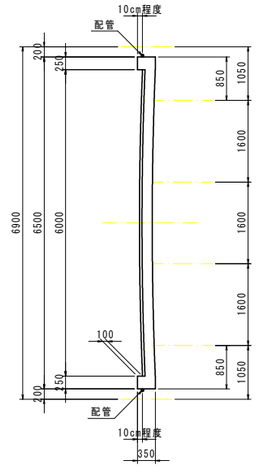
工事名	R２三土　観音寺池田線（三好大橋） 三・井川西井川　橋梁修繕工事		
路線名等	（主）観音寺池田線		
工事箇所	三好市井川町西井川（三好大橋）		
図面名	床版補修図(7/7)		
縮尺	図　示	図面番号	10/ 20
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局　県土整備部　三好庁舎		

地覆補修図(3/5) S=1:60

平面図
(P2-P3)



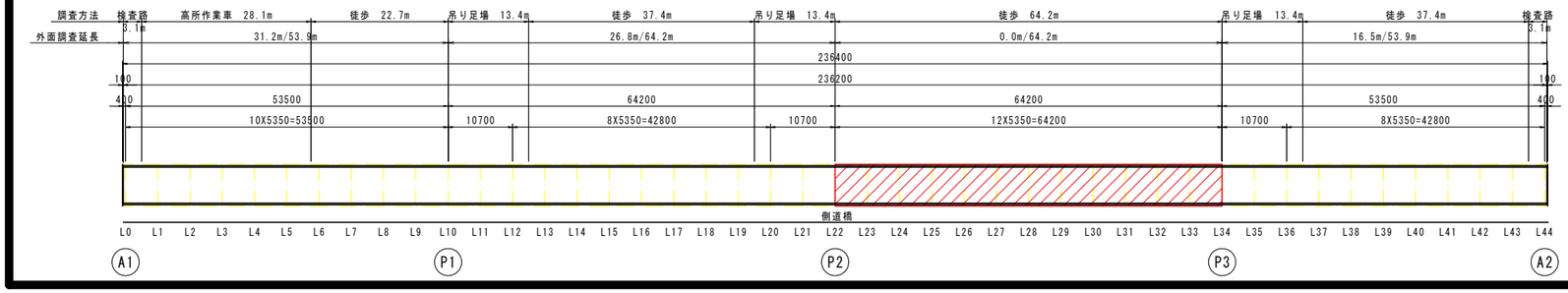




※地覆外面には天端付近に既設配管が布設されているため、
徒歩調査区間では基本的に調査範囲から除いた。
足場設置時に調査し、損傷箇所は補修すること。

：調査除外範囲

位置図 S=1:500



【注記】

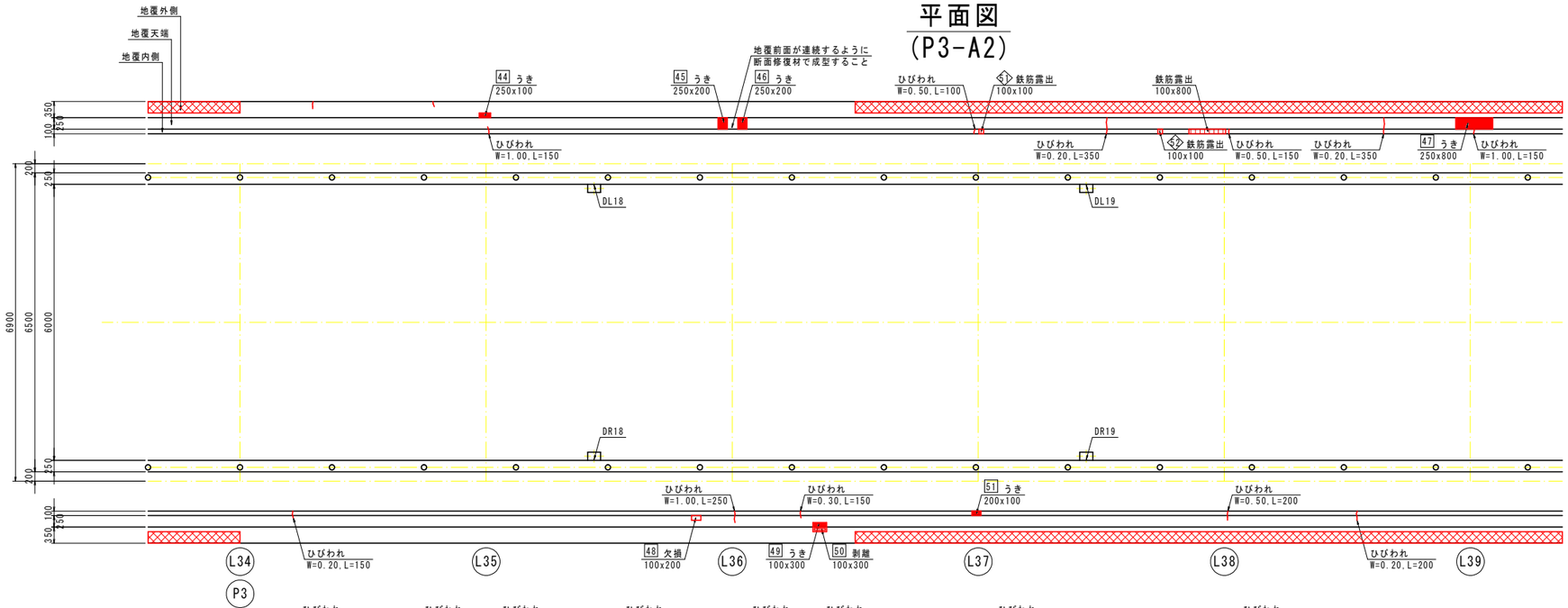
- 補修対象は番号を附した損傷である。ひびわれは錆汁等もなく構造的に重要でないため補修対象外とした。
- 鉄筋露出については、純かぶり5mm以上を確保できる箇所は断面修復工による補修を行う。施工実施前にかぶりを確認し、補修箇所を決定すること。なお、純かぶり5mmを確保できない箇所には防錆材を塗布すること。
- 徒歩調査区間は、地覆外面を調査範囲から基本的には除いた。足場設置後調査を行い、上記と同様の方針で補修すること。
- 調査区間には生じていない損傷が発見された場合は、監督員と協議の上、適切に処理すること。
- 本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
- 施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

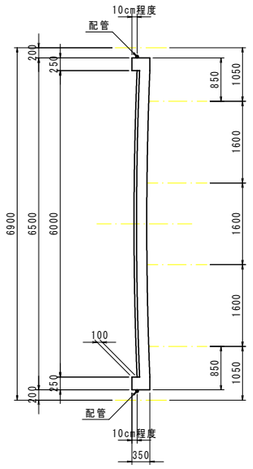
実施設計図面

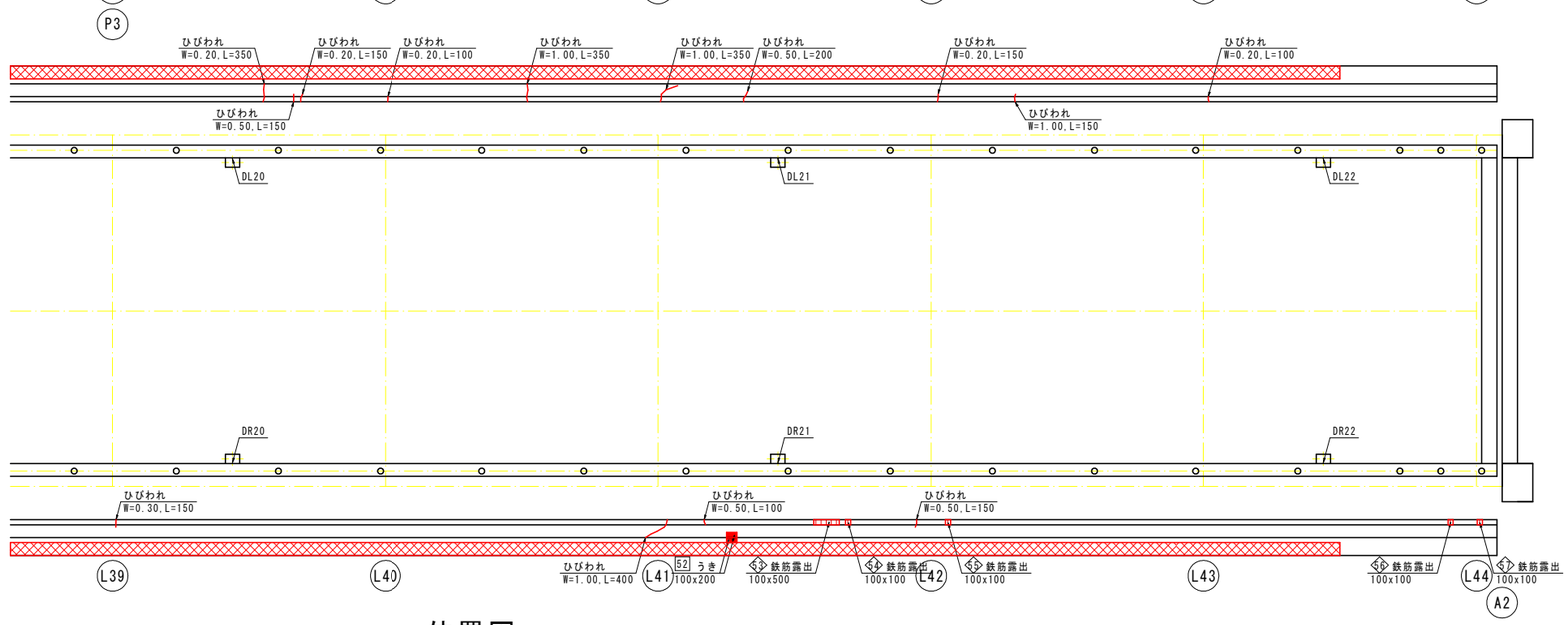
工事名	R２三土　観音寺池田線（三好大橋） 三・井川西井川　橋梁修繕工事		
路線名等	（主）観音寺池田線		
工事箇所	三好市井川町西井川（三好大橋）		
図面名	地覆補修図(3/5)		
縮尺	図　示	図面番号	11 / 20
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局　県土整備部　三好庁舎		

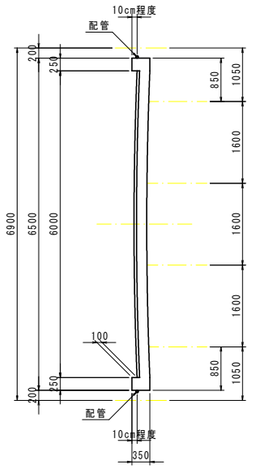
地覆補修図(4/5) S=1:60

平面図 (P3-A2)





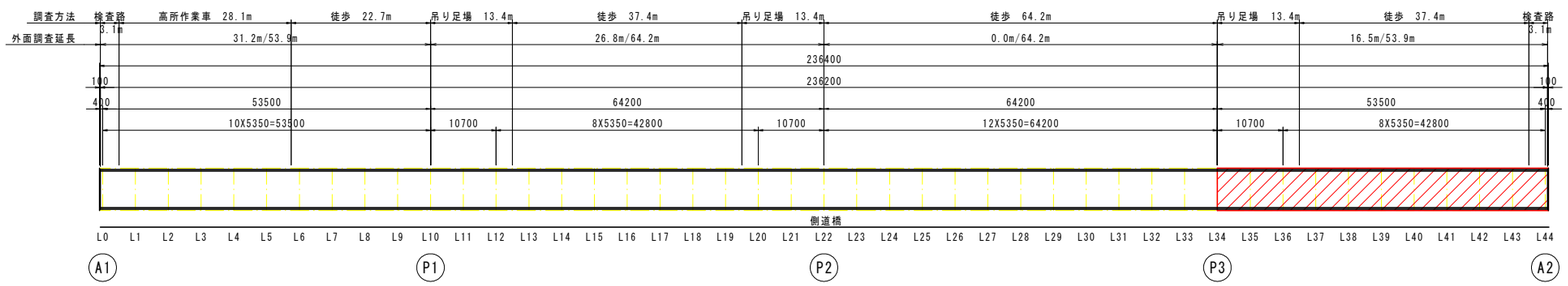




※地覆外面には天端付近に既設配管が布設されているため、
徒歩調査区間では基本的に調査範囲から除いた。
足場設置時に調査し、損傷箇所は補修すること。

:調査除外範囲

位置図 S=1:500



【注記】
- 補修対象は番号を附した損傷である。ひびわれは錆汁等もなく構造的に重要でないため補修対象外とした。
- 鉄筋露出については、純かぶり5mm以上を確保できる箇所は断面修復工による補修を行う。施工実施前にかぶりを確認し、補修箇所を決定すること。なお、純かぶり5mmを確保できない箇所には防錆材を塗布すること。
- 徒歩調査区間は、地覆外面を調査範囲から基本的には除いた。足場設置後調査を行い、上記と同様の方針で補修すること。
- 調査区間には生じていない損傷が発見された場合は、監督員と協議の上、適切に処理すること。
- 本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
- 施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

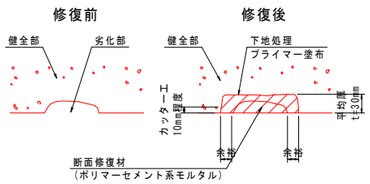
実施設計図面

工事名	R２三土　観音寺池田線（三好大橋） 三・井川西井川　橋梁修繕工事		
路線名等	（主）観音寺池田線		
工事箇所	三好市井川町西井川（三好大橋）		
図面名	地覆補修図(4/5)		
縮尺	図　示	図面番号	12 / 20
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局　県土整備部　三好庁舎		

地覆補修図(5/5)

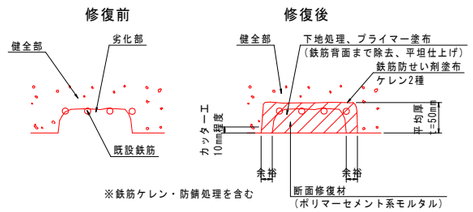
断面修復工詳細図

鉄筋非露出部



※鉄筋ケレン・防錆処理を含まない

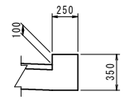
鉄筋露出部



※鉄筋ケレン・防錆処理を含む

【注記】
・断面修復工の断面寸法は，施工にあたり剥離部等を取り除いた後，詳細計測を行い決定すること。
・はつり範囲に鉄筋を確認した場合は鉄筋を露出させて鉄筋露出部の施工方法にて補修すること。
・鉄筋露出については、純かぶり5mm以上を確保できる箇所は断面修復工による補修を行う。
施工実施前にかぶりを確認し、補修箇所を決定すること。
なお、純かぶり5mmを確保できない箇所には防錆材を塗布すること。
・鉄筋非露出部は、断面修復時の平均厚を30mmとする。

数量補正説明図



全表面積　a1=0.10+0.25+0.35=0.70m2/m
外側面積　a2=0.35m2/m

数量補正　全表面積：A1/調査面積：A3

調査面積比

		算　式	面積(m2)
第1径間 (A1-P1)	全表面積	A1=0.70m2/mx53.9x2	75.46
	除外面積	A2=0.35m2/mx22.7x2	15.89
	調査面積	A3=A1-A2	59.57
第2径間 (P1-P2)	全表面積	A1=0.70m2/mx64.2x2	89.88
	除外面積	A2=0.35m2/mx37.4x2	26.18
	調査面積	A3=A1-A2	63.70
第3径間 (P2-P3)	全表面積	A1=0.70m2/mx64.2x2	89.88
	除外面積	A2=0.35m2/mx64.2x2	44.94
	調査面積	A3=A1-A2	44.94
第4径間 (P3-A2)	全表面積	A1=0.70m2/mx53.9x2	75.46
	除外面積	A2=0.35m2/mx37.4x2	26.18
	調査面積	A3=A1-A2	49.28

除外面積　A2：地覆外側面積x徒歩調査延長

断面修復工数量表

※下表は徒歩調査区間の地覆外面を含んでいない。
全体数量の仮定値は数量計算書にて調査表面積と全表面積の比を乗じて補正する。
面積比は、数量補正説明図に示す。

第1径間　(A1-P1)

断面修復工数量表　※鉄筋ケレン・防錆処理を含まない

番号	B x L x N	単位	鉄筋非露出部 数量	備考
地覆				
1	100 × 50 × 1	m2	0.005	剥離
2	350 × 100 × 1	m2	0.035	うき
3	150 × 300 × 1	m2	0.045	うき
4	250 × 150 × 1	m2	0.038	うき
5	150 × 150 × 1	m2	0.023	うき
6	150 × 300 × 1	m2	0.045	うき
7	100 × 300 × 1	m2	0.030	うき
8	50 × 50 × 2	m2	0.005	剥離
9	250 × 300 × 1	m2	0.075	うき
10	100 × 150 × 1	m2	0.015	うき
11	150 × 250 × 1	m2	0.038	うき
12	100 × 200 × 1	m2	0.020	うき
13	100 × 300 × 1	m2	0.030	うき
14	100 × 200 × 1	m2	0.020	うき
15	100 × 300 × 1	m2	0.030	うき
16	100 × 300 × 1	m2	0.030	うき
17	100 × 200 × 1	m2	0.020	うき
18	100 × 300 × 1	m2	0.030	うき
19	100 × 300 × 1	m2	0.030	うき
合計（面積）		m2	0.564	
合計（体積）		m3	0.017	(t=30mm)

断面修復工数量表　※鉄筋ケレン・防錆処理を含む

番号	B x L x N	単位	鉄筋露出部 数量	備考
地覆				
◇1	50 × 100 × 2	m2	0.010	鉄筋露出
◇2	50 × 50 × 1	m2	0.003	鉄筋露出
◇3	50 × 50 × 1	m2	0.003	鉄筋露出
◇4	50 × 50 × 2	m2	0.005	鉄筋露出
◇5	50 × 250 × 1	m2	0.013	鉄筋露出
◇6	50 × 100 × 3	m2	0.015	鉄筋露出
◇7	350 × 50 × 1	m2	0.018	鉄筋露出
◇8	50 × 250 × 1	m2	0.013	鉄筋露出
◇9	50 × 50 × 1	m2	0.003	鉄筋露出
◇10	50 × 100 × 1	m2	0.005	鉄筋露出
◇11	50 × 800 × 1	m2	0.040	鉄筋露出
◇12	100 × 200 × 1	m2	0.020	鉄筋露出
◇13	1800 × 50 × 1	m2	0.090	鉄筋露出
◇14	200 × 350 × 1	m2	0.070	鉄筋露出
◇15	100 × 200 × 1	m2	0.020	鉄筋露出
合計（面積）		m2	0.328	
合計（体積）		m3	0.016	(t=50mm)

第2径間　(P1-P2)

断面修復工数量表　※鉄筋ケレン・防錆処理を含まない

番号	B x L x N	単位	鉄筋非露出部 数量	備考
地覆				
20	100 × 250 × 1	m2	0.025	うき
21	50 × 50 × 1	m2	0.003	剥離
22	150 × 250 × 1	m2	0.038	剥離
23	100 × 200 × 1	m2	0.020	うき
24	100 × 250 × 2	m2	0.050	うき
25	100 × 250 × 1	m2	0.025	うき
26	100 × 150 × 1	m2	0.015	うき
27	100 × 200 × 1	m2	0.020	うき
28	100 × 250 × 1	m2	0.025	うき
29	70 × 100 × 1	m2	0.007	うき
30	50 × 100 × 1	m2	0.005	うき
合計（面積）		m2	0.233	
合計（体積）		m3	0.007	(t=30mm)

断面修復工数量表　※鉄筋ケレン・防錆処理を含む

番号	B x L x N	単位	鉄筋露出部 数量	備考
地覆				
◇16	100 × 100 × 1	m2	0.010	鉄筋露出
◇17	50 × 50 × 2	m2	0.005	鉄筋露出
◇18	50 × 50 × 2	m2	0.005	鉄筋露出
◇19	50 × 100 × 1	m2	0.005	鉄筋露出
◇20	50 × 50 × 1	m2	0.003	鉄筋露出
◇21	100 × 100 × 1	m2	0.010	鉄筋露出
◇22	50 × 50 × 1	m2	0.003	鉄筋露出
◇23	100 × 50 × 1	m2	0.005	鉄筋露出
◇24	200 × 50 × 1	m2	0.010	鉄筋露出
◇25	100 × 50 × 1	m2	0.005	鉄筋露出
◇26	100 × 50 × 2	m2	0.010	鉄筋露出
◇27	50 × 150 × 1	m2	0.008	鉄筋露出
◇28	200 × 50 × 1	m2	0.010	鉄筋露出
◇29	150 × 50 × 2	m2	0.015	鉄筋露出
◇30	50 × 150 × 1	m2	0.008	鉄筋露出
◇31	200 × 50 × 1	m2	0.010	鉄筋露出
◇32	50 × 50 × 7	m2	0.018	鉄筋露出
◇33	50 × 50 × 4	m2	0.010	鉄筋露出
◇34	50 × 50 × 1	m2	0.003	鉄筋露出
◇35	100 × 50 × 1	m2	0.005	鉄筋露出
◇36	300 × 200 × 1	m2	0.060	鉄筋露出
◇37	100 × 50 × 1	m2	0.005	鉄筋露出
◇38	50 × 50 × 1	m2	0.003	鉄筋露出
◇39	150 × 50 × 1	m2	0.008	鉄筋露出
◇40	200 × 50 × 2	m2	0.020	鉄筋露出
合計（面積）		m2	0.254	
合計（体積）		m3	0.013	(t=50mm)

第3径間　(P2-P3)

断面修復工数量表　※鉄筋ケレン・防錆処理を含まない

番号	B x L x N	単位	鉄筋非露出部 数量	備考
地覆				
31	100 × 200 × 1	m2	0.020	うき
32	100 × 250 × 1	m2	0.025	うき
33	100 × 250 × 1	m2	0.025	うき
34	100 × 200 × 1	m2	0.020	うき
35	100 × 100 × 1	m2	0.010	剥離
36	100 × 700 × 2	m2	0.140	うき
37	100 × 200 × 1	m2	0.020	うき
38	200 × 200 × 1	m2	0.040	うき
39	100 × 200 × 1	m2	0.020	うき
40	100 × 250 × 1	m2	0.025	うき
41	100 × 250 × 1	m2	0.025	うき
42	100 × 300 × 1	m2	0.030	うき
43	100 × 250 × 1	m2	0.025	うき
合計（面積）		m2	0.425	
合計（体積）		m3	0.013	(t=30mm)

断面修復工数量表　※鉄筋ケレン・防錆処理を含む

番号	B x L x N	単位	鉄筋露出部 数量	備考
地覆				
◇41	100 × 100 × 1	m2	0.010	鉄筋露出
◇42	100 × 500 × 1	m2	0.050	鉄筋露出
◇43	100 × 100 × 1	m2	0.010	鉄筋露出
◇44	100 × 1000 × 1	m2	0.100	鉄筋露出
◇45	100 × 300 × 1	m2	0.030	鉄筋露出
◇46	100 × 1000 × 1	m2	0.100	鉄筋露出
◇47	100 × 1000 × 1	m2	0.100	鉄筋露出
◇48	100 × 100 × 1	m2	0.010	鉄筋露出
◇49	100 × 400 × 1	m2	0.040	鉄筋露出
◇50	100 × 200 × 1	m2	0.020	鉄筋露出
合計（面積）		m2	0.470	
合計（体積）		m3	0.024	(t=50mm)

第4径間　(P3-A2)

断面修復工数量表　※鉄筋ケレン・防錆処理を含まない

番号	B x L x N	単位	鉄筋非露出部 数量	備考
地覆				
44	250 × 100 × 1	m2	0.025	うき
45	250 × 200 × 1	m2	0.050	うき
46	250 × 200 × 1	m2	0.050	うき
47	250 × 800 × 1	m2	0.200	うき
48	100 × 200 × 1	m2	0.020	欠損
49	100 × 300 × 1	m2	0.030	うき
50	100 × 300 × 1	m2	0.030	剥離
51	200 × 100 × 1	m2	0.020	うき
52	100 × 200 × 2	m2	0.040	うき
合計（面積）		m2	0.465	
合計（体積）		m3	0.014	(t=30mm)

断面修復工数量表　※鉄筋ケレン・防錆処理を含む

番号	B x L x N	単位	鉄筋露出部 数量	備考
地覆				
◇51	100 × 100 × 1	m2	0.010	鉄筋露出
◇52	100 × 100 × 1	m2	0.010	鉄筋露出
◇53	100 × 500 × 1	m2	0.050	鉄筋露出
◇54	100 × 100 × 1	m2	0.010	鉄筋露出
◇55	100 × 100 × 1	m2	0.010	鉄筋露出
◇56	100 × 100 × 1	m2	0.010	鉄筋露出
◇57	100 × 100 × 1	m2	0.010	鉄筋露出
合計（面積）		m2	0.110	
合計（体積）		m3	0.006	(t=50mm)

【注記】
・補修対象は番号を附した損傷である。ひびわれは錆汁等もなく構造的に重要でないため補修対象外とした。
・鉄筋露出については、純かぶり5mm以上を確保できる箇所は断面修復工による補修を行う。施工実施前にかぶりを確認し、補修箇所を決定すること。なお、純かぶり5mmを確保できない箇所には防錆材を塗布すること。
・徒歩調査区間は、地覆外面を調査範囲から基本的には除いた。足場設置後調査を行い、上記と同様の方針で補修すること。
・調査区間には生じていない損傷が発見された場合は、監督員と協議の上、適切に処理すること。
・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

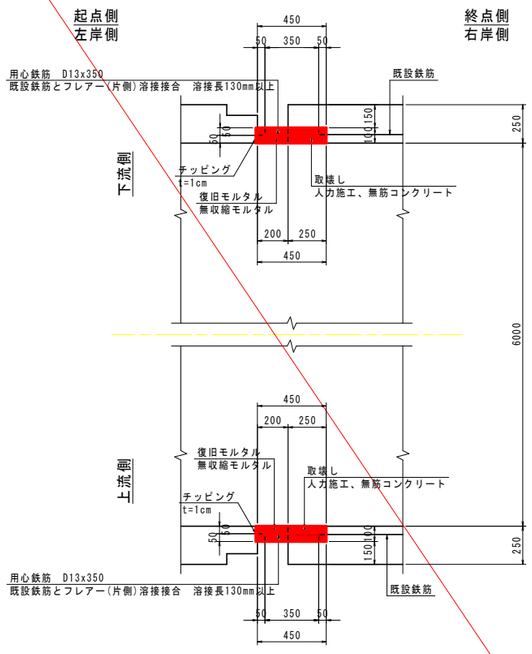
実施設計図面

工事名	R２三土　観音寺池田線（三好大橋） 三・井川西井川　橋梁修繕工事		
路線名等	（主）観音寺池田線		
工事箇所	三好市井川町西井川（三好大橋）		
図面名	地覆補修図(5/5)		
縮尺	図　示	図面番号	13/ 20
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局　県土整備部　三好庁舎		

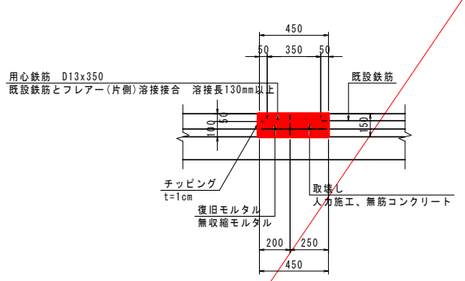
地覆切欠き部補修図

L12部 S=1:20

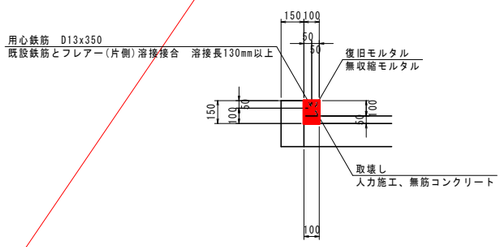
平面図



側面図(共通)

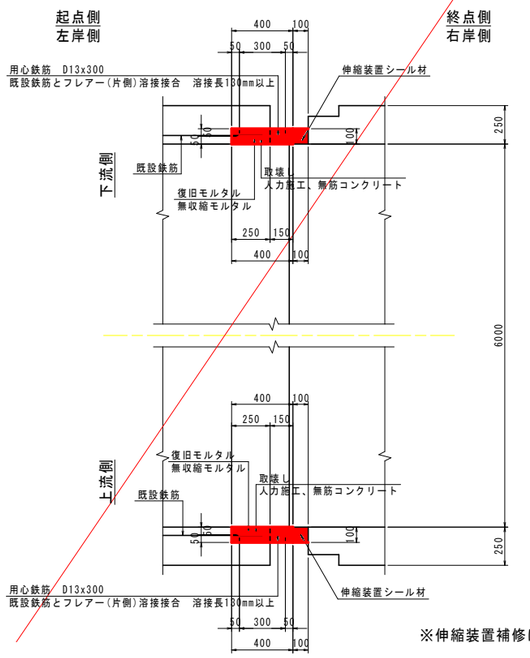


断面図(共通)

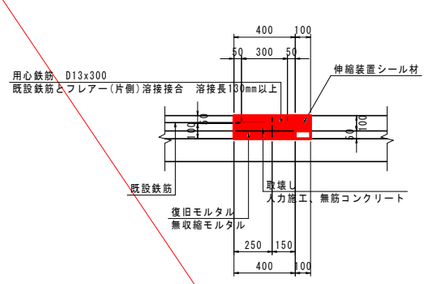


L20部 S=1:20
(ゲルバー伸縮装置補修部)

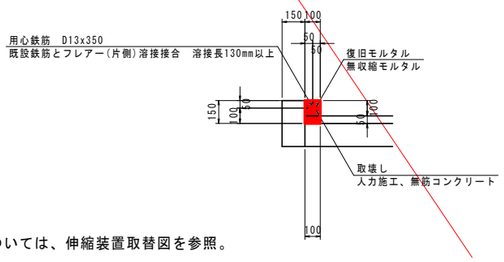
平面図



側面図(共通)



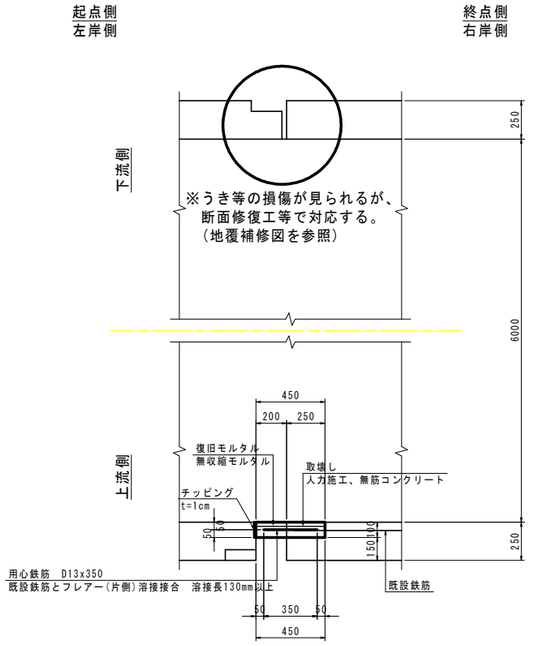
断面図(共通)



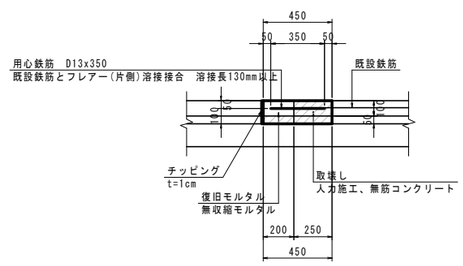
※伸縮装置補修については、伸縮装置取替図を参照。

L36部 S=1:20

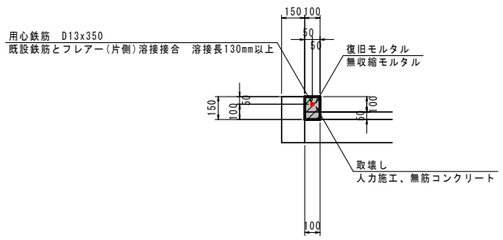
平面図



側面図



断面図



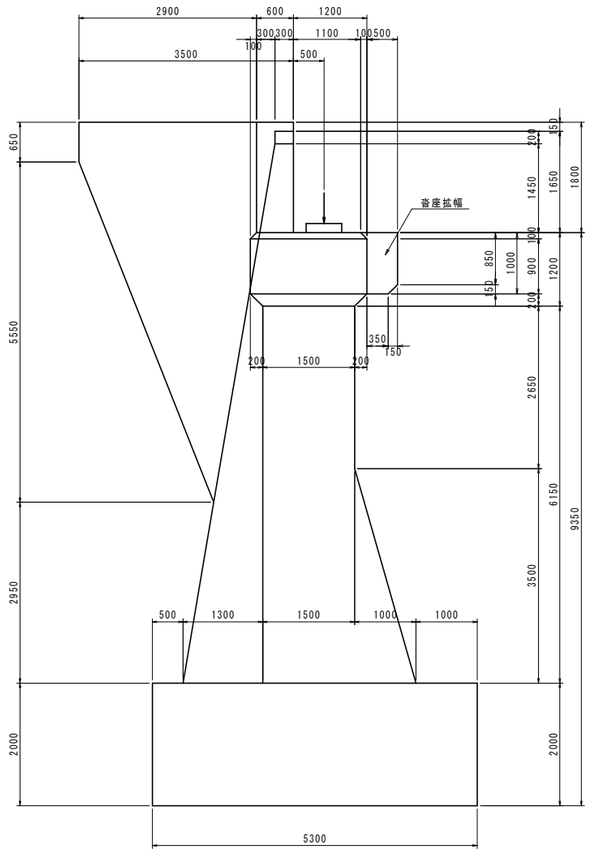
【注記】
- 本図面は、既存資料および現地計測結果を参考に作図したものである。
- 施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。
- 既設地覆部の取り壊しは、既設鉄筋を残すことを基本としている。

実施設計図面

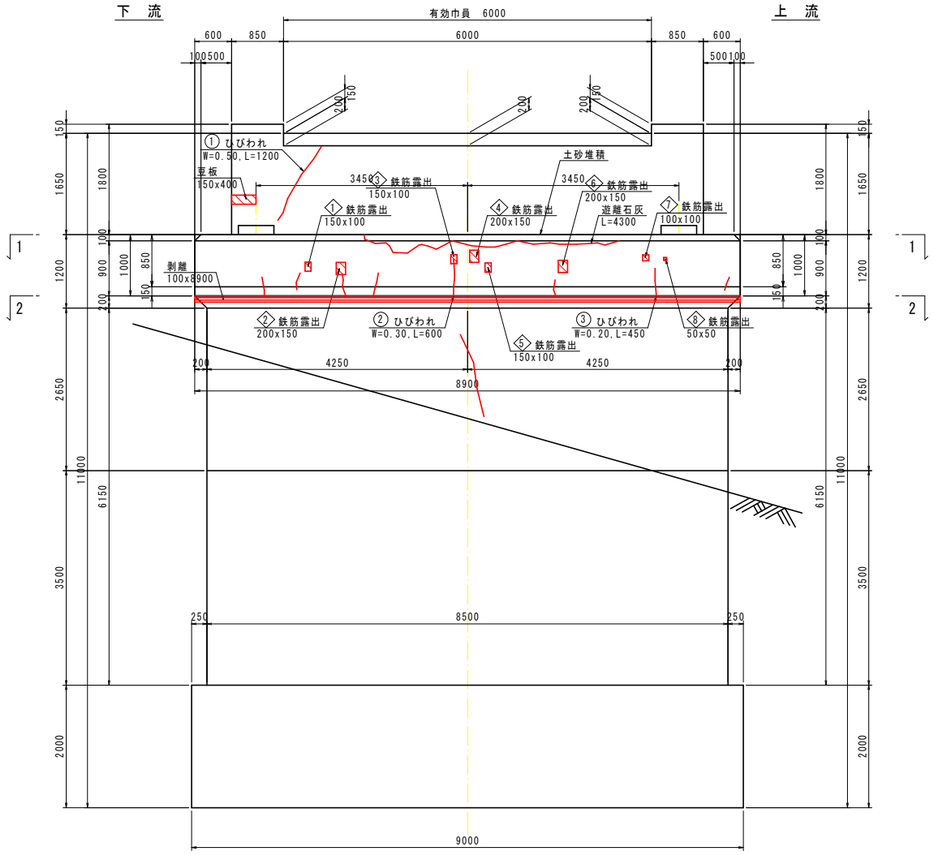
工事名	R2三土 観音寺池田線(三好大橋) 三・井川西井川 橋梁修繕工事		
路線名等	(主)観音寺池田線		
工事箇所	三好市井川町西井川(三好大橋)		
図面名	地覆切欠き部補修図		
縮尺	図 示	図面番号	14/ 20
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部 三好庁舎		

A2橋台補修図(1/2) S=1:50

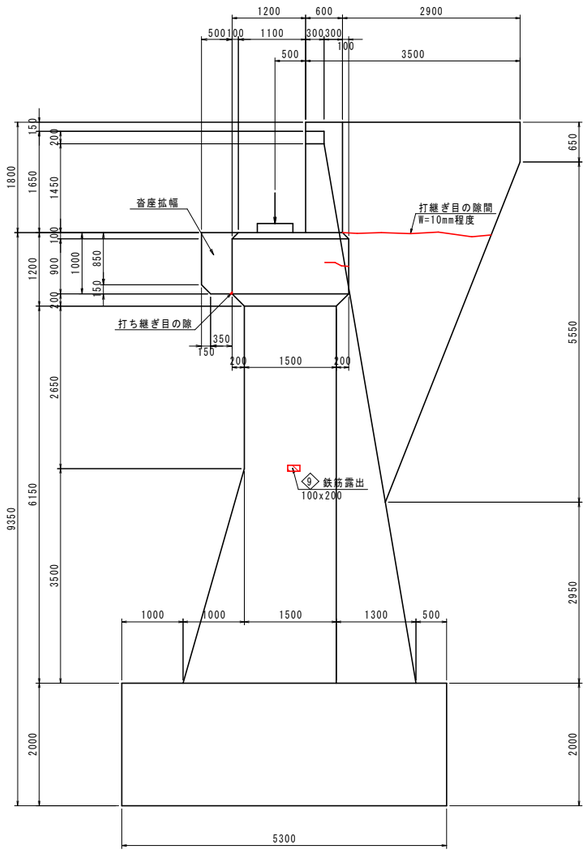
側面図（下流側）



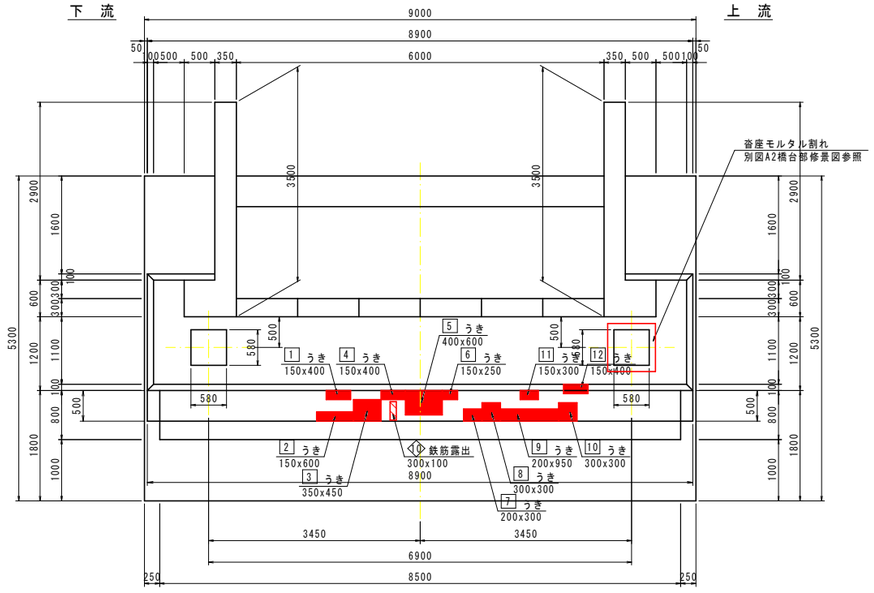
正面図



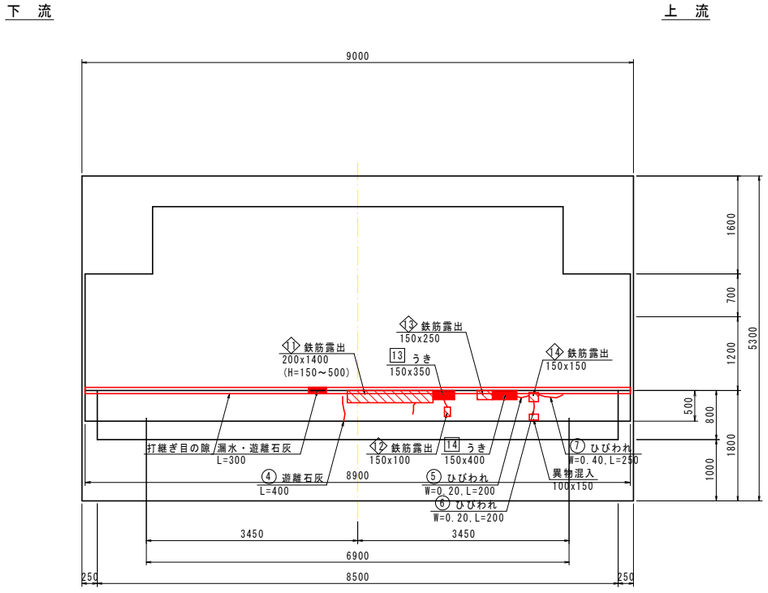
側面図（上流側）



平面図 (1-1)



平面図 (2-2)



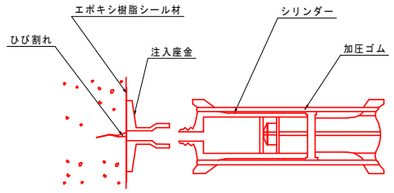
【注記】
- 補修対象は番号を附した損傷である。その他の損傷は経過観察とする。
- 本図面は、完成図と確認調査結果を基に作図したものである。
- 施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

実施設計図面

工事名	R２三土　観音寺池田線（三好大橋） 三・井川西井川　橋梁修繕工事		
路線名等	（主）観音寺池田線		
工事箇所	三好市井川町西井川（三好大橋）		
図面名	A2橋台補修図(1/2)		
縮尺	図　示	図面番号	15/ 20
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局　県土整備部　三好庁舎		

A2橋台補修図(2/2)

ひび割れ注入工詳細図



ひび割れ注入工　単位数量表　　10m当り

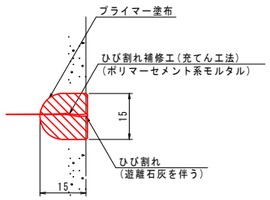
名称	規格		単位	数量	摘要
シール材	エポキシ樹脂系		kg	1.02	
注入材	エポキシ樹脂系	0.2mm以上～1.0mm未満	kg	0.06	幅0.20mm、深さ50mmに仮定
			kg	0.09	幅0.30mm、深さ50mmに仮定
			kg	0.12	幅0.40mm、深さ50mmに仮定
			kg	0.15	幅0.50mm、深さ50mmに仮定
注入器具	30cm間隔		個	33.0	

注1) ひび割れ注入工の施工範囲は、施工前に詳細計測を実施し決定すること。
注2) ひび割れ注入工の注入深さは、現地目視点検により50mmと仮定している。
　　詳細な注入深さは現地計測により決定すること。
注3) シール材の断面は、幅30mmx厚さ2mmと仮定している。
注4) シール材の単位重量はW=1,700kg/m3と仮定している。
注5) エポキシ樹脂系の単位重量はW=1,200kg/m3と仮定している。
注6) シール材、注入剤はロス率を考慮していない数量である。

ひび割れ注入工数量表

番号	単位	数量 幅0.2mm以上～1.0mm未満	備考
橋台			
①	m	1.200	幅0.50mm
②	m	0.600	幅0.30mm
③	m	0.450	幅0.20mm
⑤	m	0.200	幅0.20mm
⑥	m	0.200	幅0.20mm
⑦	m	0.250	幅0.40mm
小計	m	0.850	幅0.20mm
小計	m	0.600	幅0.30mm
小計	m	0.250	幅0.40mm
小計	m	1.200	幅0.50mm
合計	m	2.900	

ひび割れ充てん工 詳細図

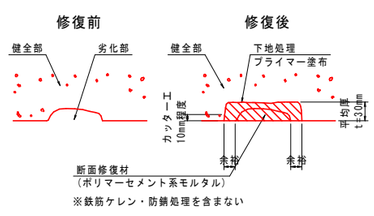


ひび割れ充てん工数量表

番号	単位	数量	備考
橋台			
④	m	0.400	遊離石灰
合計	m	0.400	

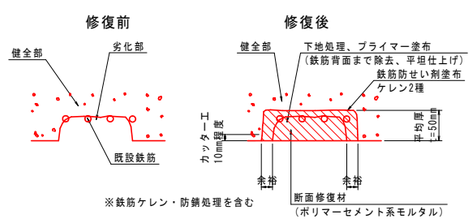
断面修復工詳細図

鉄筋非露出部



※鉄筋ケレン・防錆処理を含まない

鉄筋露出部



※鉄筋ケレン・防錆処理を含む

注)
・断面修復工の断面寸法は，施工にあたり剥離部等を取り除いた後，詳細計測を行い決定すること。
・はつり範囲に鉄筋を確認した場合は鉄筋を露出させて鉄筋露出部の施工方法にて補修すること。
・鉄筋非露出部は、断面修復時の平均厚を30mmとする。

断面修復工数量表　　※鉄筋ケレン・防錆処理を含まない

番号	B x L x N	単位	鉄筋非露出部 数量	備考
橋台				
1	150 × 400 × 1	m2	0.060	うき
2	150 × 600 × 1	m2	0.090	うき
3	350 × 450 × 1	m2	0.158	うき
4	150 × 400 × 1	m2	0.060	うき
5	400 × 600 × 1	m2	0.240	うき
6	150 × 250 × 1	m2	0.038	うき
7	200 × 300 × 1	m2	0.060	うき
8	300 × 300 × 1	m2	0.090	うき
9	200 × 950 × 1	m2	0.190	うき
10	300 × 300 × 1	m2	0.090	うき
11	150 × 300 × 1	m2	0.045	うき
12	150 × 400 × 1	m2	0.060	うき
13	150 × 350 × 1	m2	0.053	うき
14	150 × 400 × 1	m2	0.060	うき
合計（面積）		m2	1.294	
合計（体積）		m3	0.039	(t=30mm)

断面修復工数量表　　※鉄筋ケレン・防錆処理を含む

番号	B x L x N	単位	鉄筋露出部 数量	備考
橋台				
①	150 × 100 × 1	m2	0.015	鉄筋露出
②	200 × 150 × 1	m2	0.030	鉄筋露出
③	150 × 100 × 1	m2	0.015	鉄筋露出
④	200 × 150 × 1	m2	0.030	鉄筋露出
⑤	150 × 100 × 1	m2	0.015	鉄筋露出
⑥	200 × 150 × 1	m2	0.030	鉄筋露出
⑦	100 × 100 × 1	m2	0.010	鉄筋露出
⑧	50 × 50 × 1	m2	0.003	鉄筋露出
⑨	100 × 200 × 1	m2	0.020	鉄筋露出
⑩	300 × 100 × 1	m2	0.030	鉄筋露出
⑫	150 × 100 × 1	m2	0.015	鉄筋露出
⑬	150 × 250 × 1	m2	0.038	鉄筋露出
⑭	150 × 150 × 1	m2	0.023	鉄筋露出
合計（面積）		m2	0.274	
合計（体積）		m3	0.014	(t=50mm)

断面修復工数量表　　※鉄筋ケレン・防錆処理を含む

番号	B x L x N	単位	鉄筋露出部 数量	備考
橋台				
⑪	200 × 1400 × 1	m2	0.280	鉄筋露出
合計（面積）		m2	0.280	
合計（体積）		m3	0.056	(t=200mm)

注)
・⑪ 鉄筋露出部は、沓座拡幅と橋台本体の間に下から高さ150～500mm程度の空洞が生じているため、可能な限り左官工法により充てんするものとする。
数量はt=200mmを計上しておく。

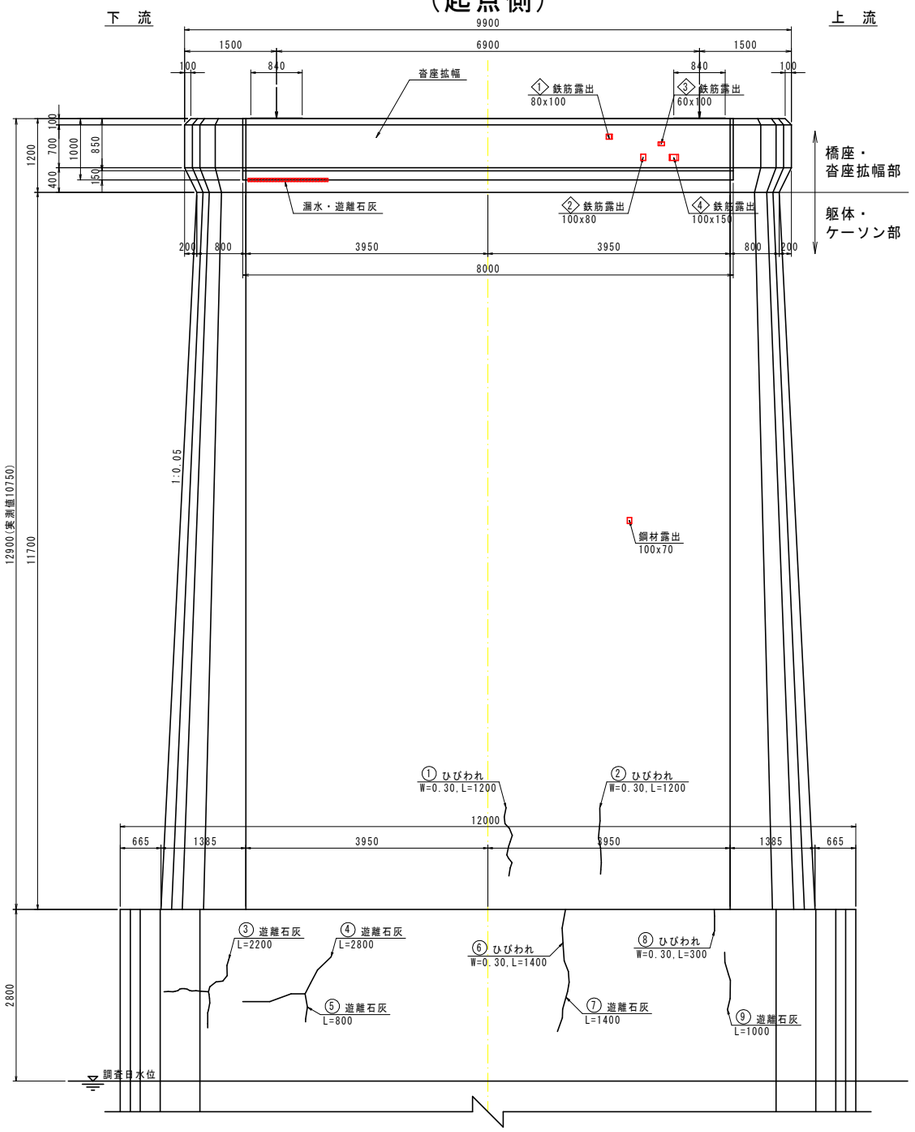
【注記】
・補修対象は番号を附した損傷である。その他の損傷は経過観察とする。
・本図面は、完成図と確認調査結果を基に作図したものである。
・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

実施設計図面

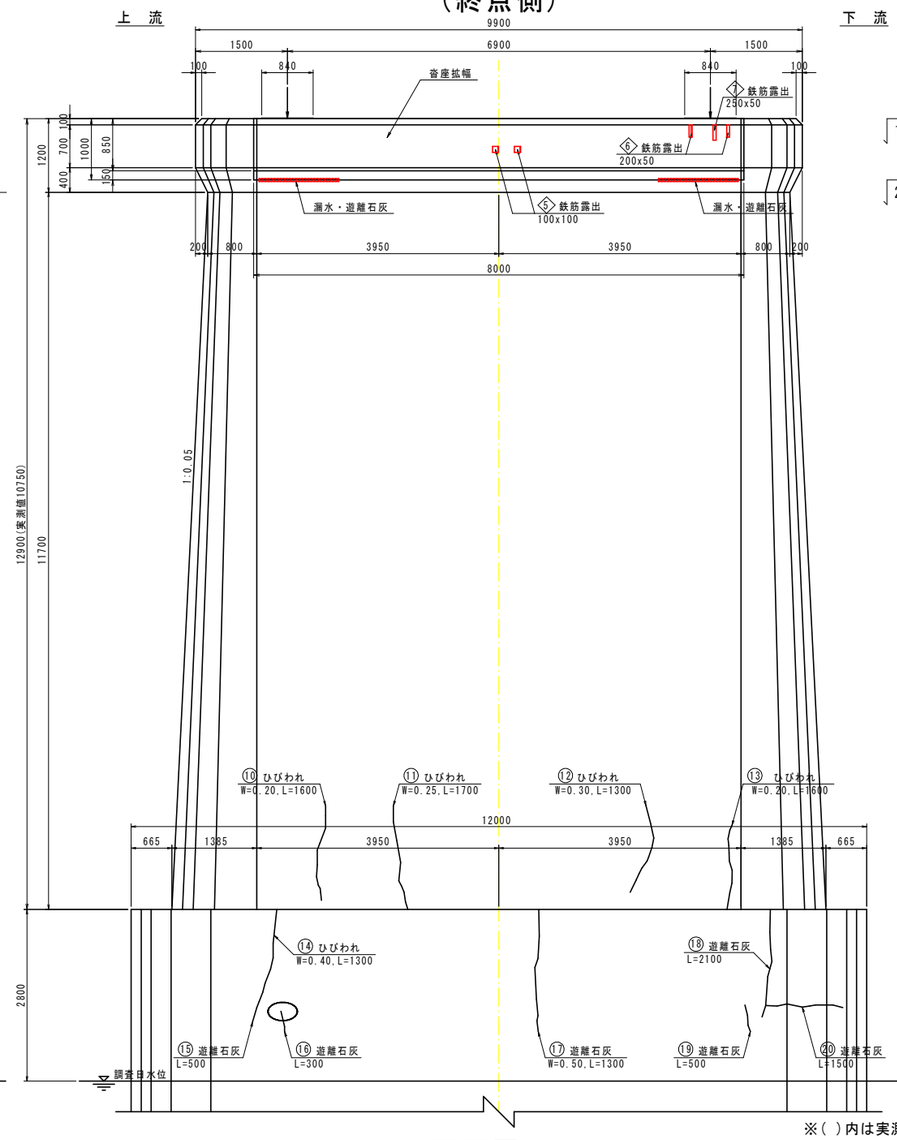
工事名	R２三土　観音寺池田線（三好大橋） 三・井川西井川　橋梁修繕工事		
路線名等	（主）観音寺池田線		
工事箇所	三好市井川町西井川（三好大橋）		
図面名	A2橋台補修図(2/2)		
縮尺	図　示	図面番号	16/ 20
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局　県土整備部　三好庁舎		

P3橋脚補修図(1/2) S=1:50

正面図（起点側）

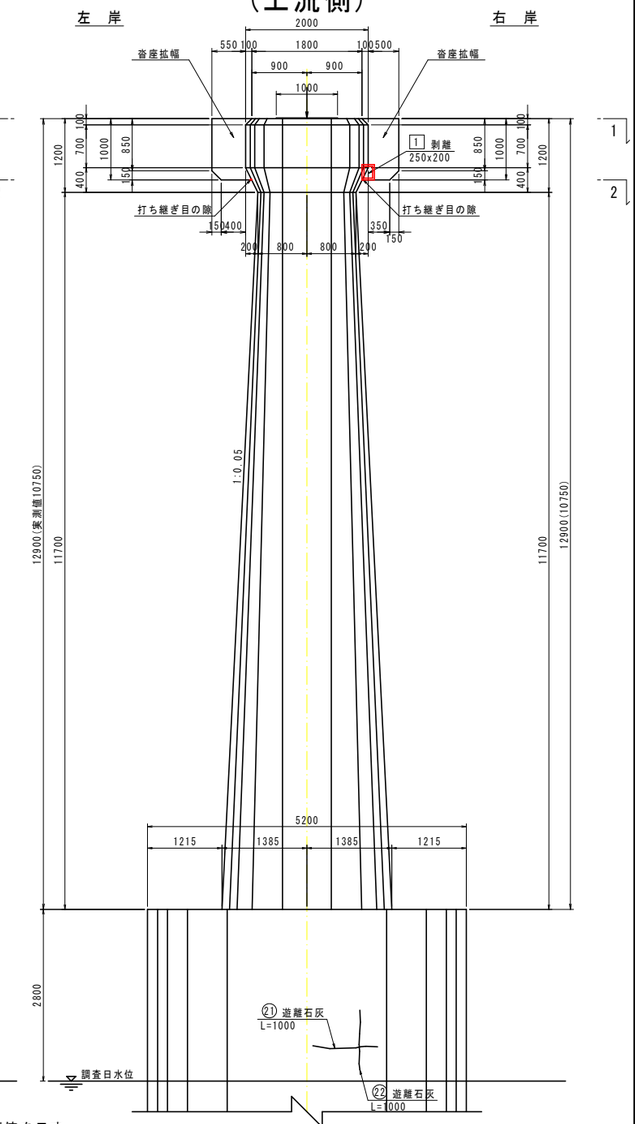


正面図（終点側）



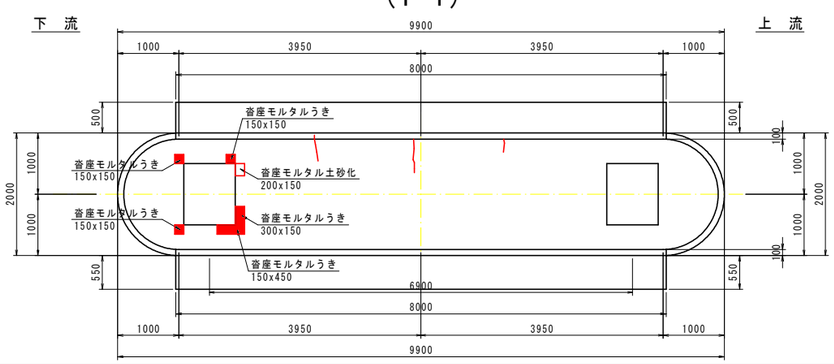
※( )内は実測値を示す。

側面図（上流側）

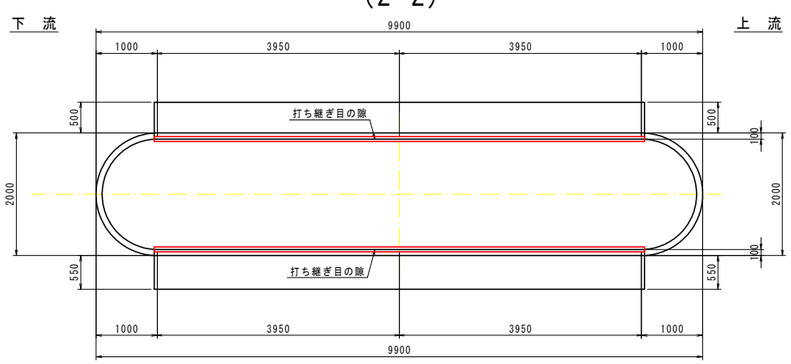


※下流側側面は損傷無し

平面図（1-1）



平面図（2-2）



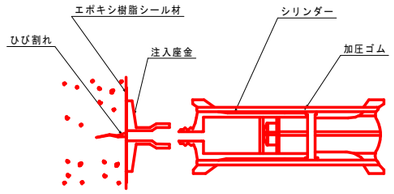
【注記】
- 補修対象は番号を附した損傷である。その他の損傷は経過観察とする。
- 本図面は、完成図と確認調査結果を基に作図したものである。
- 施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

実施設計図面

工事名	R２三土　観音寺池田線（三好大橋） 三・井川西井川　橋梁修繕工事		
路線名等	（主）観音寺池田線		
工事箇所	三好市井川町西井川（三好大橋）		
図面名	P3橋脚補修図(1/2)		
縮尺	図　示	図面番号	17/ 20
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局　県土整備部　三好庁舎		

P3橋脚補修図(2/2)

ひび割れ注入工詳細図



ひび割れ注入工　単位数量表　　10m当り

名称	規格		単位	数量	摘要
シール材	エポキシ樹脂系		kg	1.02	
注入材	エポキシ樹脂系	0.2mm以上～1.0mm未満	kg	0.06	幅0.20mm、深さ50mmに仮定
			kg	0.08	幅0.25mm、深さ50mmに仮定
			kg	0.09	幅0.30mm、深さ50mmに仮定
			kg	0.12	幅0.40mm、深さ50mmに仮定
注入器具	30cm間隔		個	33.0	

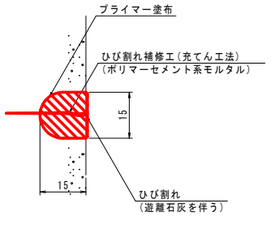
注1）ひび割れ注入工の施工範囲は、施工前に詳細計測を実施し決定すること。
注2）ひび割れ注入工の注入深さは、現地目視点検により50mmと仮定している。
　　詳細な注入深さは現地計測により決定すること。
注3）シール材の断面は、幅30mmx厚さ2mmと仮定している。
注4）シール材の単位重量はW=1.700kg/m3と仮定している。
注5）エポキシ樹脂系の単位重量はW=1.200kg/m3と仮定している。
注6）シール材、注入剤はロス率を考慮していない数量である。

ひび割れ注入工数量表

番号	単位	数量 幅0.2mm以上～1.0mm未満	備考
躯体・ケーソン部			
①	m	1.200	幅0.30mm
②	m	1.200	幅0.30mm
⑥	m	1.400	幅0.30mm
⑧	m	0.300	幅0.30mm
⑩	m	1.600	幅0.20mm
⑪	m	1.700	幅0.25mm
⑫	m	1.300	幅0.30mm
⑬	m	1.600	幅0.20mm
⑭	m	1.300	幅0.40mm
小計	m	3.200	幅0.20mm
小計	m	1.700	幅0.25mm
小計	m	5.400	幅0.30mm
小計	m	1.300	幅0.40mm
合計	m	11.600	

ひび割れ充てんエ　詳細図

（幅1.0mm以上または遊離石灰を伴うひびわれ）

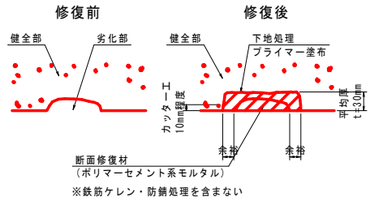


ひび割れ充てん工数量表

番号	単位	数量	備考
躯体・ケーソン部			
③	m	2.200	遊離石灰
④	m	2.800	遊離石灰
⑤	m	0.800	遊離石灰
⑦	m	1.400	遊離石灰
⑨	m	1.000	遊離石灰
⑮	m	0.500	遊離石灰
⑯	m	0.300	遊離石灰
⑰	m	1.300	遊離石灰
⑱	m	2.100	遊離石灰
⑲	m	0.500	遊離石灰
⑳	m	1.500	遊離石灰
㉑	m	1.000	遊離石灰
㉒	m	1.000	遊離石灰
合計	m	16.40	

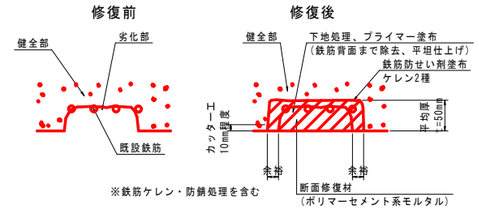
断面修復工詳細図

鉄筋非露出部



※鉄筋ケレン・防錆処理を含まない

鉄筋露出部



※鉄筋ケレン・防錆処理を含む

注）
・断面修復工の断面寸法は、施工にあたり剥離部等を取り除いた後、詳細計測を行い決定すること。
・はつり範囲に鉄筋を確認した場合は鉄筋を露出させて鉄筋露出部の施工方法にて補修すること。
・鉄筋非露出部は、断面修復時の平均厚を30mmとする。

断面修復工数量表　　※鉄筋ケレン・防錆処理を含まない

番号	B x L x N	単位	鉄筋非露出部 数量	備考
橋座・沓座拡幅部				
1	250 × 200 × 1	m2	0.050	剥離
合計（面積）		m2	0.050	
合計（体積）		m3	0.002	(t=30mm)

断面修復工数量表　　※鉄筋ケレン・防錆処理を含む

番号	B x L x N	単位	鉄筋露出部 数量	備考
橋座・沓座拡幅部				
①	80 × 100 × 1	m2	0.008	鉄筋露出
②	100 × 80 × 1	m2	0.008	鉄筋露出
③	60 × 100 × 1	m2	0.006	鉄筋露出
④	100 × 150 × 1	m2	0.015	鉄筋露出
⑤	100 × 100 × 2	m2	0.020	鉄筋露出
⑥	200 × 50 × 2	m2	0.020	鉄筋露出
⑦	250 × 50 × 1	m2	0.013	鉄筋露出
合計（面積）		m2	0.090	
合計（体積）		m3	0.005	(t=50mm)

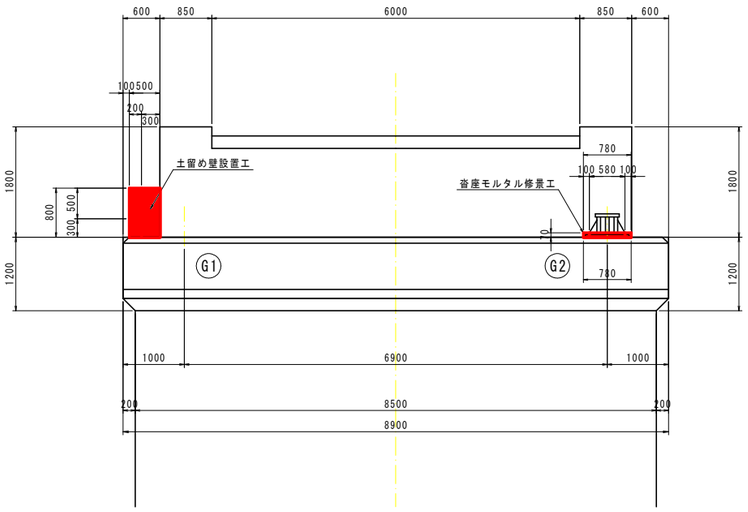
【注記】
・補修対象は番号を附した損傷である。その他の損傷は経過観察とする。
・本図面は、完成図と確認調査結果を基に作図したものである。
・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

実施設計図面

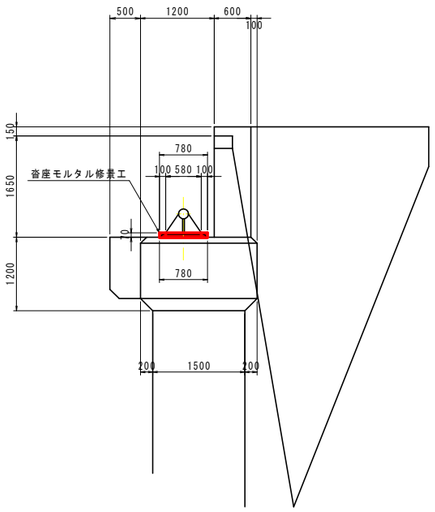
工事名	R２三土　観音寺池田線（三好大橋） 三・井川西井川　橋梁修繕工事		
路線名等	（主）観音寺池田線		
工事箇所	三好市井川町西井川（三好大橋）		
図面名	P3橋脚補修図(2/2)		
縮尺	図　示	図面番号	18 / 20
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局　県土整備部　三好庁舎		

A2橋台部修景図

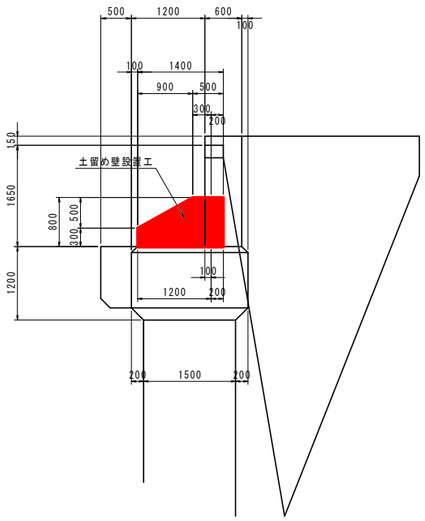
正面図 S=1:50



断面図 S=1:50

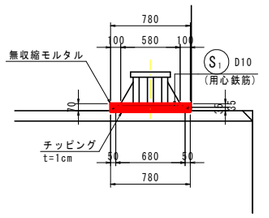


断面図 S=1:50

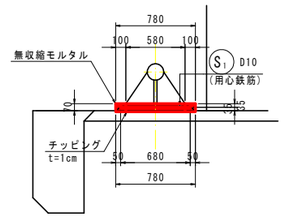


沓座モルタル修景工 S=1:30

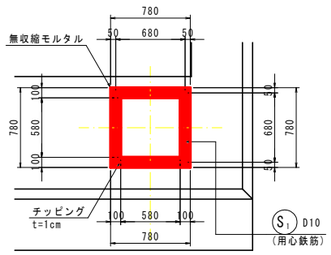
正面図

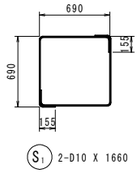


断面図

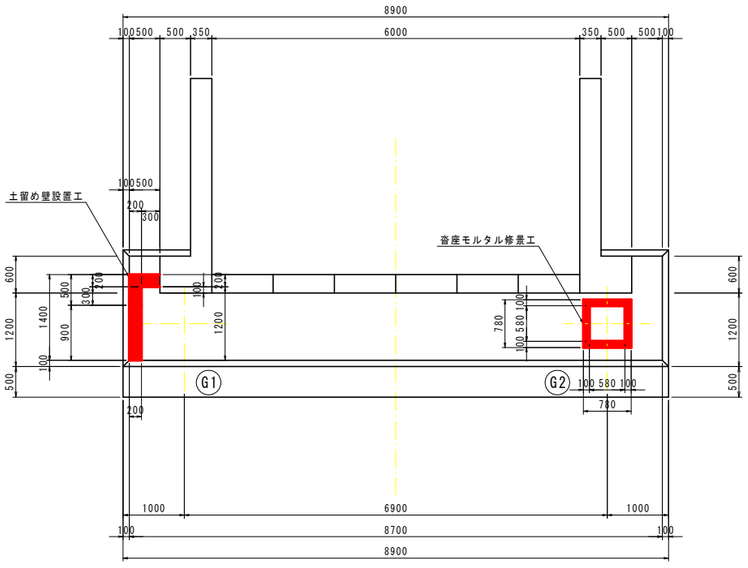


平面図



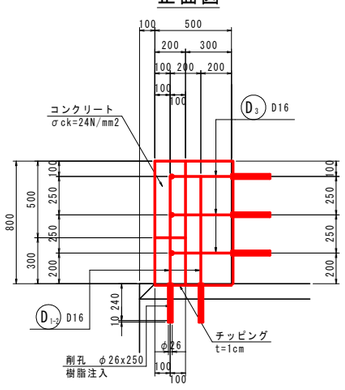


平面図 S=1:50

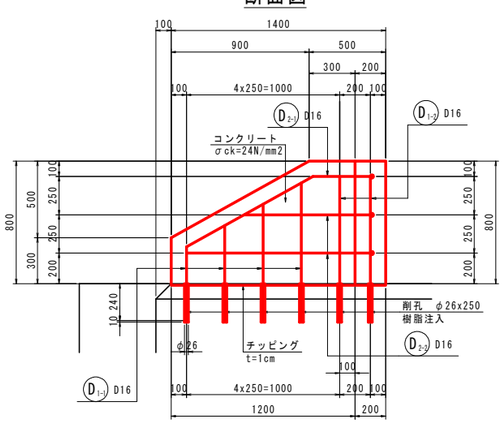


土留め壁設置工 S=1:20

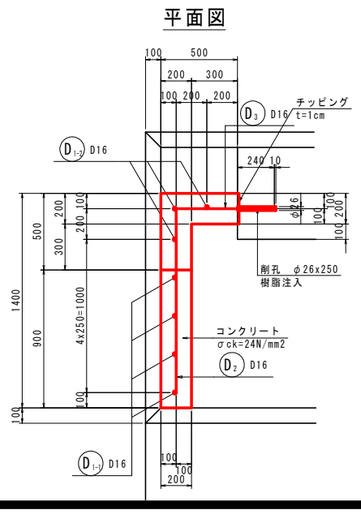
正面図

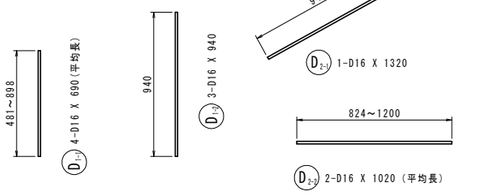


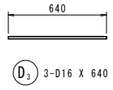
断面図



平面図







鉄筋質量表(SD345)

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
S1	D10	1660	2	0.56	0.93	2	
						2	
合計	D10					2 kg	
総質量						2 kg	

鉄筋質量表(SD345)

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
D1-1	D16	690	4	1.56	1.08	4	(平均長)
D1-2	D16	940	3	1.56	1.47	4	
D2-1	D16	1320	1	1.56	2.06	2	
D2-2	D16	1020	2	1.56	1.59	3	(平均長)
D3	D16	640	3	1.56	1.00	3	
						16	
合計	D16					16 kg	
総質量						16 kg	

【注記】
・本図面は、既存資料および現地計測結果を参考に作図したものである。
・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

実施設計図面

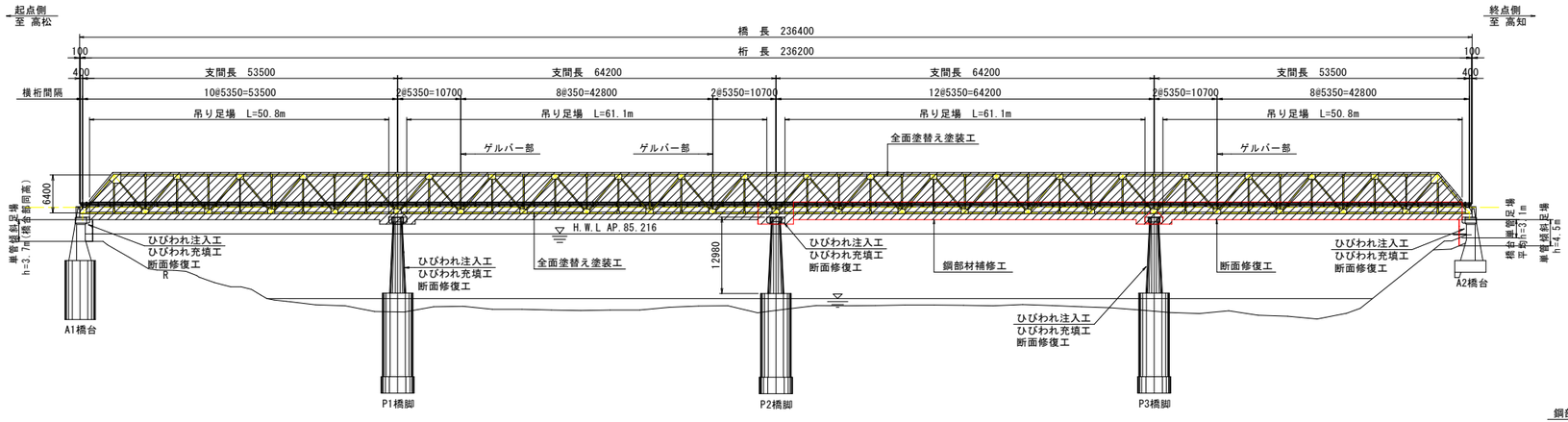
工事名	R2三土 観音寺池田線(三好大橋) 三・井川西井川 橋梁修繕工事		
路線名等	(主)観音寺池田線		
工事箇所	三好市井川町西井川(三好大橋)		
図面名	A2橋台部修景図		
縮尺	図示	図面番号	19/20
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部 三好庁舎		

施工計画図(1/2)

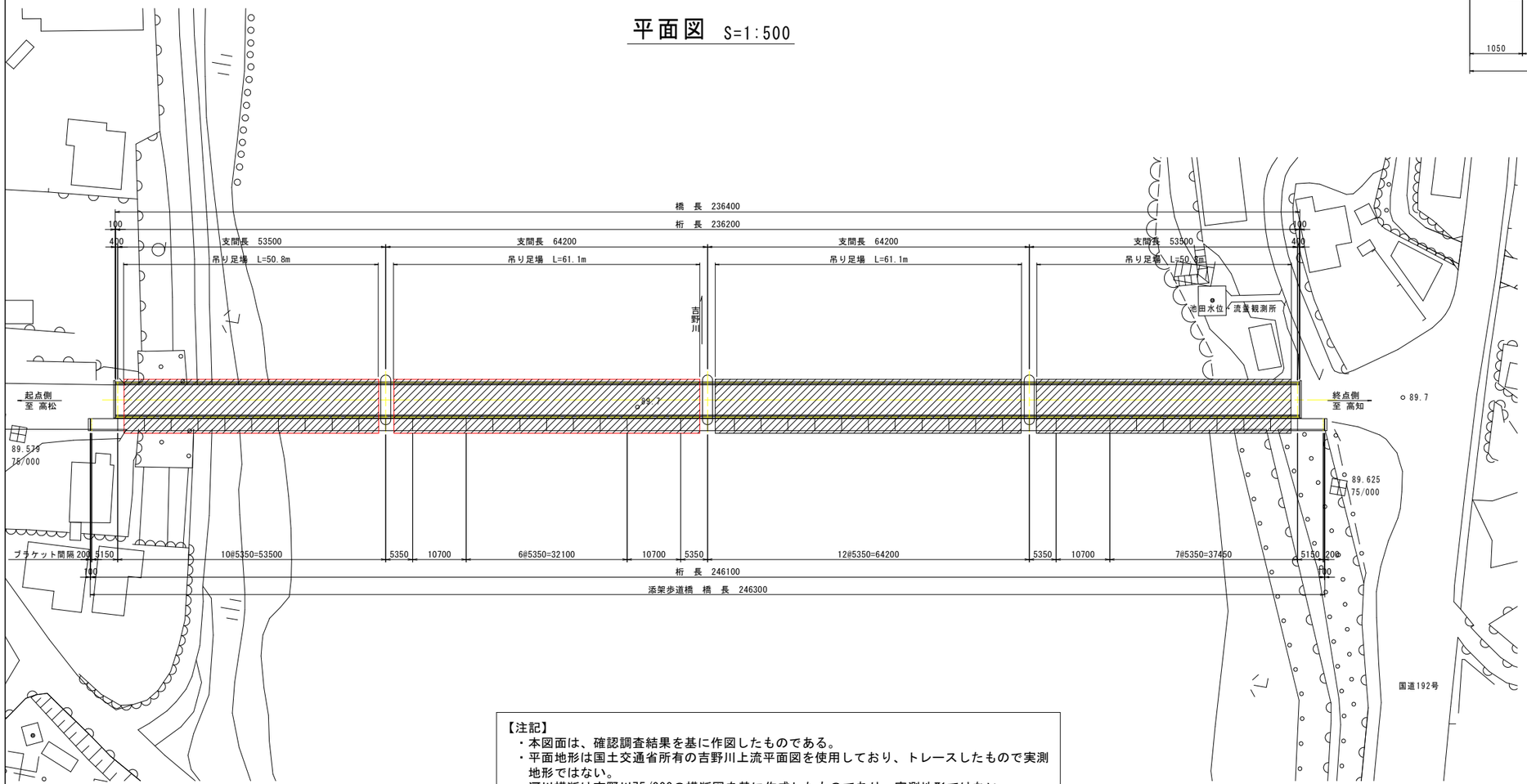
（鋼部材塗替塗装工、鋼部材補修工、床版補修工、下部工補修工）

通行規制必要無し

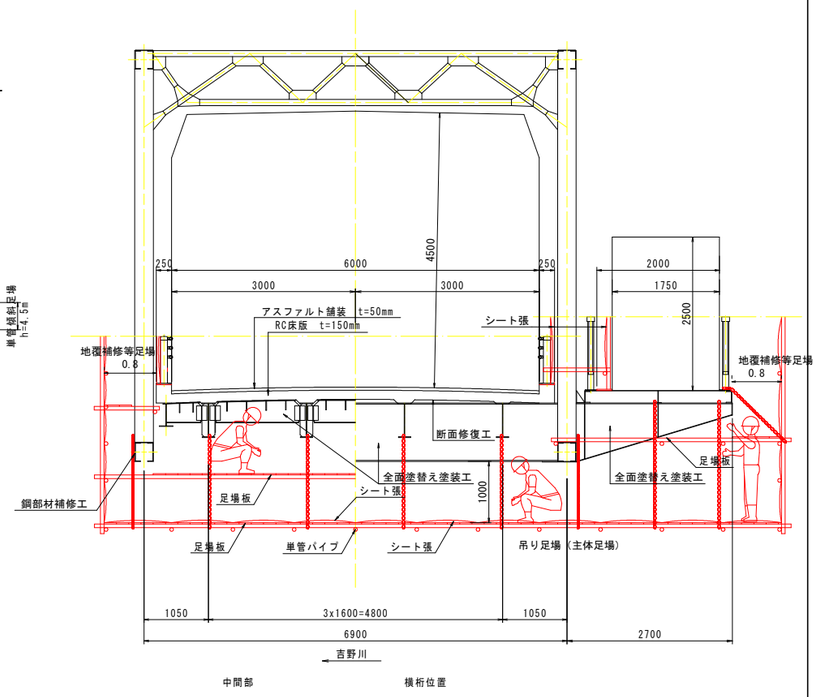
側面図 S=1:500



平面図 S=1:500



断面図 S=1:50



作業フロー

（ひびわれ注入工）	（ひびわれ充填工）	（断面修復工）	（塗替塗装工）
準 備 工	準 備 工	準 備 工	準 備 工
吊り足場設置工	吊り足場設置工	吊り足場設置工	吊り足場設置工
表面処理	ひびわれ面のカット	カッター工	素地調整・ケレン工
注入パイプ取付け	清 掃	はつり工	下塗り(鋼材露出部)
シール材の塗布	プライマー塗布	ブラスト及び鉄筋錆除去	下塗り
ゴム注入器の取付け	充填材を充填	防錆処理	下塗り
注 入	養 生	プライマー塗布	中塗り
仕上げ・養生	吊り足場撤去工	断面修復工	上塗り
吊り足場撤去工	後片付け	吊り足場撤去工	吊り足場撤去工
後片付け		後片付け	後片付け

※鋼部材補修工の作業フローは各詳細図を参照のこと。

【注記】
- 本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
- 平面地形は国土交通省所有の吉野川上流平面図を使用しており、トレースしたもので実測地形ではない。
- 河川横断は吉野川75/000の横断図を基に作成したものであり、実測地形ではない。
- 施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

実施設計図面

工事名	R２三土 観音寺池田線（三好大橋） 三・井川西井川 橋梁修繕工事		
路線名等	（主）観音寺池田線		
工事箇所	三好市井川町西井川（三好大橋）		
図面名	施工計画図(1/2)		
縮尺	図 示	図面番号	20/ 20
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部 三好庁舎		